

0001

論文設問分析・テーマ設定 > 設問要求・制約・論点抽出 | 難易度：基礎

【論述演習】設問が『新技術導入に伴う特有のリスクと、それに対する監査手続を論述せよ』と求めている。最初に行うべきこととして最も適切なものはどれか。

- ア．『特有のリスク』『監査手続』という要求語を抽出し、何を具体化すべきか整理する
- イ．自分が書きやすい一般的なセキュリティ論から書き始める
- ウ．過去に覚えた定型文をそのまま使う
- エ．新技術の製品説明を中心に構成する

答え・解説

正答：ア

ア：論述前に設問の要求語を分解し、答案に必須の論点を明確にすることが重要である。

イ：設問趣旨から外れる可能性が高い。

ウ：設問固有の要求へ対応できない。

エ：監査人としてのリスク・監査手続の論述が不足する。

総合解説：IPAの採点講評では、問題文の趣旨や設問要求を踏まえていない論述が指摘されている。論述前に要求語、対象、条件、求められる監査人の視点を整理する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0002

論文設問分析・テーマ設定 > 設問要求・制約・論点抽出 | 難易度：基礎

【論述演習】設問アで『対象システムの概要と導入理由』、設問イで『特有のリスク』、設問ウで『監査手続』を求められている。最も適切な構成方針はどれか。

- ア．各設問を互いに無関係な別事例で書く
- イ．設問アで示した導入背景から特有のリスクを導き、そのリスクに対応する監査手続を設問ウへつなげる
- ウ．設問イだけ詳細にし、ア・ウは形式的に済ませる
- エ．設問ウでは設問イと無関係な監査手続を書く

答え・解説

正答：イ

ア：項目間の矛盾や一貫性欠如につながる。

イ：設問間の論理的な連続性を確保することで、一貫した論文になる。

ウ：全設問の要求へ答える必要がある。

エ：リスクと監査手続の対応が崩れる。

総合解説：論述式では、背景→リスク→コントロール→監査手続という因果関係を設問間で維持することが重要である。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0003

論文設問分析・テーマ設定 > 設問要求・制約・論点抽出 | 難易度：基礎

【論述演習】2025年度午後II問1のように『導入に伴う特有のリスク』を問われた場合、最も不適切な論点はどれか。

- ア．新しい業務方式により従来と異なる承認経路が生じるリスクを示す
- イ．多国間で機微情報を共有することに伴う新たな管理リスクを示す
- ウ．どのシステムにも一般的に存在するリスクだけを列挙し、導入固有の事情との関係を示さない
- エ．新技術利用によって従来統制が機能しにくくなる点を示す

答え・解説

正答：ウ

ア：導入固有の変化と結び付いている。
イ：導入条件に固有のリスクとして説明できる。
ウ：公式採点講評では、既に一般に存在するリスクや新技術そのものをリスクとした論述が問題視された。
エ：導入に伴う変化として適切に論じられる。
総合解説：論述では一般論ではなく、設問が限定した条件や背景から生じる固有論点を具体化する必要がある。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0004

論文設問分析・テーマ設定 > 設問要求・制約・論点抽出 | 難易度：標準

【論述演習】設問に『監査証拠を具体的に示せ』とある。答案として最も適切な記述はどれか。

- ア．『必要な資料を確認した』
- イ．『ログを見た』
- ウ．『関係者に聞いた』
- エ．『取締役会議事録、リスク評価表、対応策承認記録を閲覧し、対象リスクの評価と受容判断を確認した』

答え・解説

正答：エ

ア：監査証拠が具体的でない。
イ：どのログを何のために確認したか不明である。
ウ：対象者・確認内容・裏付けが不明確である。
エ：証拠の名称と、それを何の確認に使うかが具体的である。
総合解説：採点講評では監査証拠が具体的でない監査手続が問題視されている。資料名、記録名、ログ種類などを明確にする。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0005

論文設問分析・テーマ設定 > 設問要求・制約・論点抽出 | 難易度：標準

【論述演習】設問文に『組織全体のIT投資ガバナンス』とある場合、テーマ設定として最も適切なものはどれか。

- ア．個別プロジェクトだけでなく、全社の投資方針・審議体制・評価・モニタリングを対象に設定する
- イ．自分が担当した一つの開発案件の進捗管理だけを論じる
- ウ．サーバ1台の性能監視だけを論じる
- エ．個人のPC購入申請だけを論じる

答え・解説

正答：ア

ア：設問の対象粒度に合わせて論述範囲を設定する必要がある。

イ：組織全体のガバナンスという要求より狭すぎる。

ウ：IT投資ガバナンスの論点と合わない。

エ：組織全体の投資統制として不十分である。

総合解説：2024年度採点講評では、組織全体のIT投資ガバナンスを問う設問に対し、個別プロジェクト中心の論述が指摘された。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0006

論文設問分析・テーマ設定 > 設問要求・制約・論点抽出 | 難易度：標準

【論述演習】設問の制約条件を答案へ反映する方法として最も適切なものはどれか。

- ア．制約条件はタイトルにだけ書き、本文では無視する
- イ．『外部サービス利用』『重要業務』『監査人として』などの条件を、事例選択と論述内容の両方に反映する
- ウ．自分の経験に合わない条件は削除して解釈する
- エ．条件が多い場合は監査人の視点を省略する

答え・解説

正答：イ

ア：実質的に設問へ答えていない。

イ：制約条件はテーマ選定だけでなく、論点・監査手続にも影響する。

ウ：設問要求を変更してはならない。

エ：試験が評価する立場を外してしまう。

総合解説：設問文の主体、対象、時点、状況、要求する行為を明確にし、答案全体で矛盾なく守る。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0007

論文設問分析・テーマ設定 > 設問要求・制約・論点抽出 | 難易度：標準

【論述演習】問題文に複数の背景説明がある場合、論点抽出として最も適切な方法はどれか。

- ア．背景情報を全てそのまま要約する
- イ．背景説明を無視し一般論だけを書く
- ウ．背景説明のうち設問要求と因果関係がある部分を選び、リスクや監査要点へ変換する
- エ．最初に出てきた用語だけを論点にする

答え・解説

正答：ウ

ア：論点抽出にならず答案が散漫になる。

イ：設問固有の趣旨を外しやすい。

ウ：問題文の情報をすべて均等に扱うのではなく、設問と関連する情報を選別する。

エ：重要性・設問との関連で選ぶべきである。

総合解説：論述式では問題文中の背景が、なぜその監査テーマが重要かを示す。背景→リスク→監査目的へ論理変換する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0008

論文設問分析・テーマ設定 > 設問要求・制約・論点抽出 | 難易度：標準

【論述演習】テーマ選択時、自分の経験に完全一致する事例がない。最も適切な対応はどれか。

- ア．設問と無関係でも最も詳しく書ける経験を選ぶ
- イ．完全な一般論だけで経験を示さない
- ウ．架空の専門用語を増やして詳しく見せる
- エ．設問要求に近い実務経験を選び、事実関係を矛盾なく設定して監査人の視点で具体化する

答え・解説

正答：エ

ア：要求不一致は評価を下げる。

イ：具体性に欠けやすい。

ウ：内容の妥当性と一貫性が重要である。

エ：自らの経験と考えに基づきつつ、設問趣旨に沿うことが重要である。

総合解説：採点講評は、自らの経験と考えに基づき、設問で求める内容を具体的に論述することを求めている。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0009

論文設問分析・テーマ設定 > 設問要求・制約・論点抽出 | 難易度：応用

【論述演習】論述開始前のメモとして最も有効なものはどれか。

- ア．設問ごとに『要求』『書く事実』『リスク』『統制』『証拠』『結論』を対応表にする
- イ．思いついた専門用語を順不同で列挙する
- ウ．序論だけを完成文で長く書く
- エ．過去問の答えを丸暗記して再現する

答え・解説

正答：ア

ア：答案を書く前に論理部品を対応付けることで、要求漏れと矛盾を防ぎやすい。
イ：論理関係が整理されない。
ウ：本論・結論の要求漏れを招く可能性がある。
エ：今回の設問要求へ適合しない可能性がある。
総合解説：設問要求と論述内容を一対一で対応付ける設計は、論点漏れ・重複・論理飛躍を防ぐ。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0010

論文設問分析・テーマ設定 > 設問要求・制約・論点抽出 | 難易度：応用

【論述演習】設問に直接答えているかを最終確認する質問として最も有効なものはどれか。

- ア．専門用語の数は十分多いか
- イ．『この段落は、設問のどの要求に対する答えかを一文で説明できるか』
- ウ．文章が難しく見えるか
- エ．自分の経験をできるだけ長く書いたか

答え・解説

正答：イ

ア：用語数は設問適合性を保証しない。
イ：各段落と設問要求の対応を確認することで、脱線を検出できる。
ウ：評価されるのは要求への具体的な回答である。
エ：経験の長さより設問との関連が重要である。
総合解説：論述後は設問要求ごとに回答箇所を確認し、要求漏れや無関係な段落を修正する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0011

論文設問分析・テーマ設定 > 監査対象・背景・役割設定 | 難易度：基礎

【論述演習】答案冒頭の『監査対象・背景・役割』の設定として最も適切なものはどれか。

- ア．役割を記載せず、誰の視点か不明にする
- イ．背景と無関係なシステムを監査対象にする
- ウ．対象業務・システム、組織上の背景、自分の監査上の役割を相互に矛盾なく具体化する
- エ．組織規模や業務内容を每段落で変える

答え・解説

正答：ウ

ア：監査人としての判断なのか分からない。

イ：論理一貫性が崩れる。

ウ：論文全体の前提となるため、対象と立場を明確にする必要がある。

エ：前提矛盾となる。

総合解説：公式問題冊子でも、対象となるシステム監査・利用・開発運用業務の概要を記載し、本文との整合が求められている。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0012

論文設問分析・テーマ設定 > 監査対象・背景・役割設定 | 難易度：基礎

【論述演習】『あなたが携わったシステム監査、システム利用又は開発・運用業務の概要』を書く際、最も重要なことはどれか。

- ア．会社沿革を詳細に書く
- イ．システムの製品名だけを書く
- ウ．本文と異なるシステムを記載する
- エ．本文で論じる監査テーマに必要な組織・業務・システムの特徴を具体的に示す

答え・解説

正答：エ

ア：本文の監査テーマと無関係なら有用性が低い。

イ：業務上の重要性や背景が分からない。

ウ：項目間の矛盾となる。

エ：概要欄は本文の前提を読者に理解させるための情報であり、テーマと関連する必要がある。

総合解説：問題冊子は概要欄の全項目への記入と項目間の整合を求めている。本文の前提となる情報を簡潔に示す。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0013

論文設問分析・テーマ設定 > 監査対象・背景・役割設定 | 難易度：基礎

【論述演習】IT-BCP監査をテーマに選ぶ場合、背景設定として最も適切なものはどれか。

- ア．重要業務、想定災害、業務継続上の要求、対象システムの復旧依存関係を示す
- イ．災害と無関係な画面デザインの説明を中心にする
- ウ．システムのプログラム言語だけを詳述する
- エ．重要業務を特定せず全業務が同じとする

答え・解説

正答：ア

ア：IT-BCPの監査論点を理解するために、何をどの時間内に復旧する必要があるかの背景が重要である。

イ：BCP監査の背景にならない。

ウ：事業継続上の重要性が分からない。

エ：復旧優先度やRTOの論述ができない。

総合解説：2025年度午後IIでは、事業継続計画と整合したIT-BCP、その実効性を確かめる監査がテーマとなった。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0014

論文設問分析・テーマ設定 > 監査対象・背景・役割設定 | 難易度：標準

【論述演習】外部サービス監査をテーマにする場合、自分の役割設定として最も適切なものはどれか。

- ア．委託先の営業担当として契約を販売する立場
- イ．委託元の内部監査部門で、委託先管理プロセスの適切性を評価するシステム監査人
- ウ．サービス利用と無関係な第三者として何の権限も持たない立場
- エ．委託先の運用責任者として自分の業務を自ら監査する立場

答え・解説

正答：イ

ア：監査人の独立した評価という役割と異なる。

イ：監査対象と自分の権限・入手可能証拠の関係を自然に設定できる。

ウ：具体的な監査手続を設定しにくい。

エ：独立性上の問題が生じる。

総合解説：役割設定は、監査範囲、入手できる証拠、関係者とのコミュニケーションを自然に説明できるものであることが望ましい。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0015

論文設問分析・テーマ設定 > 監査対象・背景・役割設定 | 難易度：標準

【論述演習】対象システムの規模を設定する際、最も適切な考え方はどれか。

- ア．大規模とだけ書き、何が大規模か示さない
- イ．関係のない数値を多数並べる
- ウ．後続のリスク・監査手続を具体化できる程度に、利用部門数・重要性・外部依存など必要な規模情報を示す
- エ．全ての数値を省略し抽象論にする

答え・解説

正答：ウ

ア：具体性に欠ける。

イ：論述の説得力を高めない。

ウ：規模は答案の具体性を支えるために必要な範囲で示す。

エ：実務的な具体性が弱くなる。

総合解説：具体的な利用者数、拠点数、処理件数、重要度などは、リスクと監査手続の現実性を説明するのに役立つ。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0016

論文設問分析・テーマ設定 > 監査対象・背景・役割設定 | 難易度：標準

【論述演習】自分の役割を『システム監査人兼プロジェクト責任者』と設定し、自ら決定した変更管理を監査する論文の問題点はどれか。

- ア．役職名が長いこと
- イ．プロジェクト経験があること自体
- ウ．変更管理をテーマにしたこと
- エ．自己監査となり独立性に疑義が生じ、監査人としての役割設定が不自然である

答え・解説

正答：エ

ア：本質ではない。

イ：経験は有用だが、監査対象との独立関係を整理する必要がある。

ウ：適切な監査テーマになり得る。

エ：システム監査人には監査対象からの独立性・客観性が求められる。

総合解説：経験を利用する場合でも、自分が監査対象の意思決定者・実施責任者にならないよう役割関係を明確にする。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0017

論文設問分析・テーマ設定 > 監査対象・背景・役割設定 | 難易度：標準

【論述演習】監査対象の背景として『経営戦略上の重要性』を示す最も適切な記述はどれか。

- ア．当該システムが売上の主要チャネルを支え、停止すると受注業務全体へ大きな影響が及ぶ
- イ．最新のOSを使っている
- ウ．画面数が多い
- エ．開発者が多数いる

答え・解説

正答：ア

ア：業務・経営への影響を具体的に示している。

イ：技術の新しさだけでは経営重要性を示せない。

ウ：画面数は事業価値の直接的根拠ではない。

エ：人員数だけで経営上の重要性は判断できない。

総合解説：監査対象の重要性は、売上、顧客、法令、事業継続、社会的影響などの観点で説明すると監査テーマと結び付きやすい。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0018

論文設問分析・テーマ設定 > 監査対象・背景・役割設定 | 難易度：標準

【論述演習】監査対象の選び方として最も適切なものはどれか。

- ア．知名度が高いシステムなら経験がなくても選ぶ
- イ．自分が具体的な業務フロー・リスク・統制・証拠まで説明でき、設問要求にも適合する対象を選ぶ
- ウ．設問と無関係でも最も詳しい案件を選ぶ
- エ．監査手続を想定できない対象を選ぶ

答え・解説

正答：イ

ア：具体性や整合性を保ちにくい。

イ：書きやすさと設問適合性の両方が必要である。

ウ：要求不一致となる。

エ：本論の具体化が困難になる。

総合解説：対象選定段階で、背景・リスク・コントロール・監査証拠まで一連のストーリーを作れるか確認する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0019

論文設問分析・テーマ設定 > 監査対象・背景・役割設定 | 難易度：応用

【論述演習】同じ論文中で、序論では『自社開発システム』、本論では説明なく『SaaS事業者の運用』へ変わっている。最も大きな問題はどれか。

- ア．SaaSという用語を使ったこと
- イ．複数技術を扱ったこと
- ウ．監査対象の前提が途中で変わり、論文全体の一貫性が失われている
- エ．序論が短いこと

答え・解説

正答：ウ

ア：用語自体は問題ない。

イ：関係性を説明すれば扱える。

ウ：対象や背景の矛盾は、監査手続や結論の妥当性まで不明確にする。

エ：前提矛盾が本質の問題である。

総合解説：概要欄・序論・本論・結論で、対象組織、システム、時点、役割を一貫させる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0020

論文設問分析・テーマ設定 > 監査対象・背景・役割設定 | 難易度：応用

【論述演習】システム監査人の役割を示す記述として最も適切なものはどれか。

- ア．業務部門に代わって統制を日常運用する
- イ．経営者に代わってリスクを最終受容する
- ウ．監査対象の設定を自ら変更して実装する
- エ．リスクとコントロールを独立・客観的に評価し、保証又は改善助言を行う

答え・解説

正答：エ

ア：業務執行の主体になっている。

イ：リスク受容は経営上の責任である。

ウ：監査人の助言と実施責任を混同している。

エ：IPAの対象者像・業務と役割に沿ったシステム監査人の立場である。

総合解説：2026年度の対象者像では、独立かつ客観的にリスク・コントロールを検証・評価し、保証又は改善助言を行う者とされる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0021

論文設問分析・テーマ設定 > リスク・コントロール・監査目的の対応 | 難易度：基礎

【論述演習】リスク・コントロール・監査目的の関係として最も適切なものはどれか。

ア：監査対象のリスクを特定し、そのリスクを低減するコントロールが有効か確かめるよう監査目的を設定する

イ：監査目的を先に固定し、リスクは後から無関係に選ぶ

ウ：コントロールの名称だけ列挙しリスクを示さない

エ：リスクと無関係な監査手続を多く書く

答え・解説

正答：ア

ア：三者を因果関係でつなげることで、監査手続も自然に設計できる。

イ：論理的な対応が崩れる。

ウ：何を防ぐ統制が不明である。

エ：監査目的達成に寄与しない。

総合解説：論述式ではリスク→必要なコントロール→有効性を確かめる監査目的という一貫した構造が重要である。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0022

論文設問分析・テーマ設定 > リスク・コントロール・監査目的の対応 | 難易度：基礎

【論述演習】『新技術そのものがリスクである』という記述を改善する最も適切な方法はどれか。

ア：技術名の前に『重大な』を付ける

イ：新技術の導入によって何が変化し、どのような損失・目標未達が起こり得るかを具体化する

ウ：技術の機能一覧を増やす

エ：全ての新技術を同じリスクとする

答え・解説

正答：イ

ア：リスク内容は具体化されない。

イ：技術名称ではなく、組織目標へ与える不確実な影響をリスクとして示す。

ウ：損失・影響との関係が不明である。

エ：導入目的・利用条件によってリスクは異なる。

総合解説：2025年度採点講評では、AIやIaaSなどの技術そのものをリスクとした論述が指摘されている。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0023

論文設問分析・テーマ設定 > リスク・コントロール・監査目的の対応 | 難易度：基礎

【論述演習】『海外拠点と機微情報を共有するシステム』のリスクとして最も適切なものはどれか。

- ア．海外拠点が存在すること自体
- イ．ネットワークを使うこと
- ウ．国・拠点ごとのアクセス管理や法的要件の差異により、機微情報が不適切に利用・移転されるリスク
- エ．多国間という言葉が難しいこと

答え・解説

正答：ウ

ア：事実であってリスクの結果を示していない。
イ：一般的すぎて特有のリスクになっていない。
ウ：導入条件と事業上の影響を具体的に結び付けている。
エ：リスクではない。
総合解説：特有のリスクは、導入前との差異や新しい利用形態から生じる具体的な不確実性として説明する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0024

論文設問分析・テーマ設定 > リスク・コントロール・監査目的の対応 | 難易度：標準

【論述演習】上記の国際情報共有リスクに対するコントロールとして最も適切なものはどれか。

- ア．利用者全員へ同一権限を付与する
- イ．ログを保存しない
- ウ．法的要件を利用者個人の判断に任せる
- エ．データ分類、国・拠点別アクセス制御、移転ルール、承認、利用ログのモニタリングを整備する

答え・解説

正答：エ

ア：リスクを高める。
イ：不適切利用を検知・追跡できない。
ウ：組織的統制が不足する。
エ：リスクの原因となる不適切なアクセス・移転を予防・検知する統制である。
総合解説：論文では、リスク記述の直後に、そのリスクをどのコントロールで低減するか明確に対応付ける。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0025

論文設問分析・テーマ設定 > リスク・コントロール・監査目的の対応 | 難易度：標準

【論述演習】監査目的『IT-BCPが事業継続計画と整合し、実効性を持つことを確認する』に最も適した監査要点はどれか。

- ア．重要業務のRTO・RPOと復旧手段が整合し、訓練で目標達成可能性が検証されているか
- イ．BCP文書のページ数が十分か
- ウ．DRサイトの製品名が有名か
- エ．訓練参加者が多いかだけ

答え・解説

正答：ア

ア：監査目的を具体的に確認可能な観点へ分解している。

イ：実効性を評価できない。

ウ：目標達成可能性とは直接関係しない。

エ：訓練内容・結果が重要である。

総合解説：2025年度午後II問2は、事業継続計画と整合したIT-BCPと、その実効性を確かめる監査手続を問うている。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0026

論文設問分析・テーマ設定 > リスク・コントロール・監査目的の対応 | 難易度：標準

【論述演習】監査目的とコントロールが対応していない例はどれか。

- ア．アクセス権監査で権限申請・承認・棚卸を確認する
- イ．アクセス権の適切性を確認する監査で、バックアップ媒体の保管だけを主要統制として論じる
- ウ．変更管理監査で承認・テスト・本番反映を確認する
- エ．BCP監査でRTO・復元試験・代替拠点を確認する

答え・解説

正答：イ

ア：目的と統制が対応している。

イ：監査目的と統制の対象が一致していない。

ウ：変更リスクに対応している。

エ：継続性リスクに対応している。

総合解説：論述式では、書いた統制が本当に提示したリスクを低減し、監査目的に寄与するかを確認する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0027

論文設問分析・テーマ設定 > リスク・コントロール・監査目的の対応 | 難易度：標準

【論述演習】リスク許容度を論文へ組み込む記述として最も適切なものはどれか。

- ア．リスクは全てゼロにすることを前提とする
- イ．担当者の感覚で許容可能とする
- ウ．対策後の残存リスクが経営者の定めた許容範囲内かを、承認記録と評価結果で確認する
- エ．対策後のリスクは評価しない

答え・解説

正答：ウ

ア：現実的ではなく、許容度という概念を使っていない。

イ：組織としての承認が必要である。

ウ：リスク対応の十分性を組織のリスク許容度と関連付けている。

エ：残存リスクの確認が必要である。

総合解説：2025年度午後II問1の出題趣旨は、対応策により特有リスクを許容範囲内まで低減できることの評価を重視している。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0028

論文設問分析・テーマ設定 > リスク・コントロール・監査目的の対応 | 難易度：標準

【論述演習】監査目的を『情報セキュリティを確認する』とした場合の問題点はどれか。

- ア．短い文章であること
- イ．セキュリティという用語を使っていること
- ウ．監査目的には動詞を使えないこと
- エ．何のリスクに対して、どの状態を保証・評価するのが抽象的すぎる

答え・解説

正答：エ

ア：短くても具体的なら問題ない。

イ：用語自体は適切である。

ウ：そのような制約はない。

エ：監査目的は対象・リスク・評価対象を具体化する必要がある。

総合解説：例えば『重要顧客データへのアクセスが承認済み利用者へ限定され、定期的に見直されているか評価する』のように具体化する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0029

論文設問分析・テーマ設定 > リスク・コントロール・監査目的の対応 | 難易度：応用

【論述演習】一つのリスクに複数コントロールがある場合、論文で最も適切な扱いはどれか。

- ア．主要な予防・発見・是正統制を選び、それぞれがリスクをどう低減するか説明する
- イ．全統制を名称だけ列挙する
- ウ．一つの統制だけで必ず十分とする
- エ．統制同士の関係を説明しない

答え・解説

正答：ア

ア：統制の羅列ではなく、リスク低減の役割を示すことが重要である。

イ：論理関係が不明確になる。

ウ：複合的なリスクでは複数統制が必要な場合がある。

エ：監査手続を設計しにくくなる。

総合解説：論文では重要度の高い統制へ絞り、予防・発見・是正や主統制・補完統制の関係を説明すると具体性が高まる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0030

論文設問分析・テーマ設定 > リスク・コントロール・監査目的の対応 | 難易度：応用

【論述演習】監査目的を決めた後のセルフチェックとして最も適切なものはどれか。

- ア．専門用語が多いかだけ確認する
- イ．提示したリスクを、後続の監査手続と監査証拠で実際に検証できる目的になっているか確認する
- ウ．目的を長文化する
- エ．監査手続を目的と無関係に増やす

答え・解説

正答：イ

ア：検証可能性とは関係しない。

イ：目的が抽象的すぎると本論の手続・証拠へ展開できない。

ウ：長さより具体性が重要である。

エ：論理一貫性を損なう。

総合解説：良い監査目的は、対象・リスク・コントロールと結び付き、具体的な監査手続・証拠へ落とし込める。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0031

論文構成・論理展開 > 序論（業務・システム・監査概要） | 難易度：基礎

【論述演習】序論で最初に示す内容として最も適切なものはどれか。

- ア．監査手続の詳細をいきなり列挙する
- イ．改善提案を先に結論として書く
- ウ．対象業務・システムの概要と、その監査テーマが重要になった背景を簡潔に示す
- エ．関係のない会社沿革を長く説明する

答え・解説

正答：ウ

ア：背景がなく本論の意義が伝わりにくい。
イ：問題・監査結果が示されていない。
ウ：序論は読者が本論のリスク・監査手続を理解するための前提を与える。
エ：論述の焦点がぼやける。
総合解説：序論では、対象、重要性、導入背景、監査のきっかけ等を本論に必要な範囲で示し、後続の論点へつなげる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0032

論文構成・論理展開 > 序論（業務・システム・監査概要） | 難易度：基礎

【論述演習】序論の具体性を高める記述として最も適切なものはどれか。

- ア．『非常に重要なシステムである』だけ
- イ．『最新技術を使っている』だけ
- ウ．『利用者が多いと思う』
- エ．『全国120店舗の受注を処理する基幹システムで、停止すると当日出荷に影響する』と業務重要性を示す

答え・解説

正答：エ

ア：何が重要か分からない。
イ：業務重要性を示せない。
ウ：曖昧で客観性が低い。
エ：規模と業務影響が具体的に、後のリスク論述に使える。
総合解説：具体的な拠点数、処理件数、利用者数、業務影響等は論文の現実性と説得力を高める。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0033

論文構成・論理展開 > 序論（業務・システム・監査概要） | 難易度：基礎

【論述演習】序論で監査のきっかけを示す記述として最も適切なものはどれか。

- ア．『クラウド移行に伴い責任分界が変わるため、移行後統制の有効性を監査することになった』
- イ．『毎年監査しているから監査した』だけ
- ウ．『監査人がクラウドに興味があったから』
- エ．『監査報告書を書くために監査した』

答え・解説

正答：ア

ア：背景の変化と監査目的の因果関係が明確である。

イ：テーマ固有の背景が分かりにくい。

ウ：組織上の監査ニーズになっていない。

エ：目的と手段が逆転している。

総合解説：序論では、環境変化、事故、経営課題、規制変更等から監査テーマが必要になった理由を示す。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0034

論文構成・論理展開 > 序論（業務・システム・監査概要） | 難易度：標準

【論述演習】序論が長くなりすぎる場合、最も優先して削るべき内容はどれか。

- ア．監査対象の重要業務
- イ．後続のリスク・監査手続と関係しない組織沿革や製品の細かな説明
- ウ．自分の監査上の役割
- エ．監査テーマに直結する背景変化

答え・解説

正答：イ

ア：リスク論述の前提になる。

イ：論文の字数・時間は限られるため、本論に必要な前提へ絞るべきである。

ウ：監査人としての視点を明確にするため重要である。

エ：本論の因果関係に必要である。

総合解説：序論は詳しい会社紹介ではなく、設問へ答えるために必要な前提情報をコンパクトに示す。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0035

論文構成・論理展開 > 序論（業務・システム・監査概要） | 難易度：標準

【論述演習】序論と本論の接続として最も自然なものはどれか。

- ア．序論のテーマを無視し別のシステムのリスクへ移る
- イ．序論の最後で突然改善提案を書く
- ウ．序論で示した業務変更により生じたリスクを、本論の最初で具体的に特定する
- エ．本論で背景説明を最初から全て繰り返す

答え・解説

正答：ウ

ア：論文の一貫性が失われる。
イ：監査手続・判断が抜ける。
ウ：背景からリスクへ因果関係をつなぐことで論理展開が明確になる。
エ：冗長になる。
総合解説：背景→リスク→コントロール→監査という流れを維持すると、設問への対応が読み手に伝わりやすい。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0036

論文構成・論理展開 > 序論（業務・システム・監査概要） | 難易度：標準

【論述演習】監査対象として複数システムが関係する場合、序論で最も適切な説明はどれか。

- ア．システム名だけを10個列挙する
- イ．全て同じ役割として扱う
- ウ．主対象を決めず本論で都度変更する
- エ．各システムの役割と監査テーマ上の関係を示し、どこを主対象とするか明確にする

答え・解説

正答：エ

ア：相互関係が分からない。
イ：実態と異なる可能性がある。
ウ：監査範囲が不明確になる。
エ：複数システムの関係を整理しないと、後のリスクや証拠の対象が不明になる。
総合解説：データ連携、認証、外部サービス等の依存関係を本論に必要な範囲で示す。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0037

論文構成・論理展開 > 序論（業務・システム・監査概要） | 難易度：標準

【論述演習】序論で『監査対象は重要である』ことを説得的に示す最も適切な方法はどれか。

- ア．停止・誤処理・漏えい等が経営目標、顧客、法令、事業継続へ与える影響を示す
- イ．サーバの価格が高いことだけを示す
- ウ．製品の知名度を示す
- エ．開発期間が長かったことだけを示す

答え・解説

正答：ア

ア：重要性は技術的な大きさより、組織目標への影響で説明すると監査テーマにつながる。

イ：業務重要性とは限らない。

ウ：監査上の重要性を証明しない。

エ：現在の事業影響とは別である。

総合解説：システム監査技術者には組織目標達成へ寄与する視点が求められる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0038

論文構成・論理展開 > 序論（業務・システム・監査概要） | 難易度：標準

【論述演習】序論に自分の役割を書く目的として最も適切なものはどれか。

- ア．肩書きを立派に見せるため
- イ．どの立場と権限で監査を実施し、どのような証拠へアクセスしたかの前提を示すため
- ウ．業務執行責任も全て監査人が負うと示すため
- エ．本文の字数を増やすため

答え・解説

正答：イ

ア：評価目的ではない。

イ：役割設定は本論の監査手続の現実性に関係する。

ウ：独立性を損なう。

エ：内容上の必要性が重要である。

総合解説：内部監査人、監査責任者、外部専門家等の役割に応じ、入手証拠や報告経路が変わる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0039

論文構成・論理展開 > 序論（業務・システム・監査概要） | 難易度：応用

【論述演習】序論で使う数値として最も有効なものはどれか。

- ア．覚えている数字を関係なく多数入れる
- イ．会社の設立年だけを詳しく説明する
- ウ．監査テーマの重要性や規模を説明する利用者数・処理件数・復旧目標などの数値
- エ．根拠のない概算値を断定する

答え・解説

正答：ウ

ア：論旨を散漫にする。

イ：監査テーマと無関係なら効果が薄い。

ウ：本論のリスクや監査判断に意味を持つ数値が具体性を高める。

エ：一貫性と信頼性を損なう。

総合解説：数値は飾りではなく、対象規模、重要性、統制基準、判断結果を具体化するために使う。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0040

論文構成・論理展開 > 序論（業務・システム・監査概要） | 難易度：応用

【論述演習】序論のセルフレビューで最も重要な確認はどれか。

- ア．会社名を長く書いたか
- イ．専門用語が十分多いか
- ウ．背景を時系列で全て説明したか
- エ．この序論だけを読んで、本論で何のリスクと監査を論じるのか予測できるか

答え・解説

正答：エ

ア：本論との接続とは関係しない。

イ：方向性を保証しない。

ウ：必要情報へ絞るべきである。

エ：序論は論文の方向性を明確に示す必要がある。

総合解説：対象、背景、役割、重要性が明確で、本論へ自然に接続しているかを確認する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0041

論文構成・論理展開 > 本論（監査手続・証拠・判断） | 難易度：基礎

【論述演習】本論で監査手続を書く順序として最も適切なものはどれか。

- ア．リスクと確認すべきコントロールを示した後、その有効性を確かめる手続と証拠を書く
- イ．証拠名だけ先に大量列挙する
- ウ．結論を書いた後に都合のよい手続を付け足す
- エ．リスクと無関係な手続を網羅する

答え・解説

正答：ア

ア：監査手続の目的が読み手に明確になる。

イ：何を確認する証拠が分からない。

ウ：結論先行になる。

エ：論旨が散漫になる。

総合解説：本論はリスク→コントロール→監査要点→監査手続→監査証拠→判断の順に整理すると一貫性が高い。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0042

論文構成・論理展開 > 本論（監査手続・証拠・判断） | 難易度：基礎

【論述演習】監査手続の具体性が最も高い記述はどれか。

- ア．『アクセス権を調査した』
- イ．『退職者一覧と有効ID一覧を突合し、退職日後も有効なIDについて無効化承認記録と利用ログを確認した』
- ウ．『関係資料を確認した』
- エ．『必要に応じてヒアリングした』

答え・解説

正答：イ

ア：方法と証拠が不明である。

イ：対象資料、比較方法、例外、追加証拠が具体的である。

ウ：何を何のために見るか不明である。

エ：対象者・質問内容が不明である。

総合解説：採点講評で指摘される『監査証拠が具体的ではない』答案を避けるには、資料名・比較方法・確認事項を明示する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0043

論文構成・論理展開 > 本論（監査手続・証拠・判断） | 難易度：基礎

【論述演習】監査証拠を本論へ組み込む方法として最も適切なものはどれか。

- ア．章末に証拠名だけまとめて列挙する
- イ．証拠を一切書かず監査人の経験だけで判断する
- ウ．手続ごとに、どの証拠から何を確認し、どの判断へつなげたかを書く
- エ．同じ証拠を全てのリスクの根拠にする

答え・解説

正答：ウ

ア：手続との対応が不明確になる。

イ：合理的根拠が不足する。

ウ：証拠を単独で列挙せず、監査判断との関係を示す。

エ：関連性を評価していない。

総合解説：論述式では『何を見たか』だけでなく、『それで何を確かめたか』を明確にする。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0044

論文構成・論理展開 > 本論（監査手続・証拠・判断） | 難易度：標準

【論述演習】インタビュー結果だけで重要統制を有効と判断している本論の改善として最も適切なものはどれか。

- ア．インタビュー対象者の役職を高くするだけ
- イ．同じ質問を複数回行うだけ
- ウ．口頭説明を監査調書から削除する
- エ．インタビューを手掛かりにし、承認記録・ログ・設定・再実施等の客観的証拠で裏付ける

答え・解説

正答：エ

ア：証拠種類は増えない。

イ：客観的裏付けにならない。

ウ：有用な証拠の一部として残せる。

エ：重要な監査判断には証拠の十分性・適切性が必要である。

総合解説：質問・観察・閲覧・再実施・CAAT等を組み合わせて、結論を支える証拠の質を高める。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0045

論文構成・論理展開 > 本論（監査手続・証拠・判断） | 難易度：標準

【論述演習】本論でCAATを使ったと書く場合、最も重要な具体化はどれか。

- ア．分析対象データ、抽出条件、母集団完全性の確認、抽出結果への追加検証を示す
- イ．使用ソフト名だけを書く
- ウ．分析結果を無条件に正しいとする
- エ．例外件数だけを書く

答え・解説

正答：ア

ア：『CAATを使った』だけでは監査手続の再現性・妥当性が分らない。

イ：監査目的との関係が不明である。

ウ：元データとロジックの信頼性確認が必要である。

エ：例外が何を意味するか追加検証が必要である。

総合解説：データ分析では入力データの完全性、ロジック、例外検証まで書くと監査手続として具体性が高まる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0046

論文構成・論理展開 > 本論（監査手続・証拠・判断） | 難易度：標準

【論述演習】監査手続の結果、想定と異なる証拠が得られた。論文の本論で最も適切な展開はどれか。

- ア．都合の悪い証拠を無視して当初結論を維持する
- イ．当初仮説との差異を示し、追加手続を実施して最終判断を形成した過程を書く
- ウ．論文の整合を保つため証拠内容を変更する
- エ．異なる証拠が出た時点で監査を終了する

答え・解説

正答：イ

ア：客観性を損なう。

イ：監査人が証拠に基づいて判断を更新したことを示せる。

ウ：不適切である。

エ：追加検証が必要である。

総合解説：実務的な論文では、例外や矛盾へどう対応したかを書くことで監査人の判断力を示せる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0047

論文構成・論理展開 > 本論（監査手続・証拠・判断） | 難易度：標準

【論述演習】本論に複数の監査手続を書く場合、最も適切な選択方針はどれか。

- ア．可能な監査技法を全て列挙する
- イ．一つの資料閲覧だけで全リスクを評価する
- ウ．主要リスクへの対応を十分説明できる代表的な手続へ絞り、証拠と結果まで詳述する
- エ．自分が知っている技法を設問と無関係に入れる

答え・解説

正答：ウ

ア：個々の目的と結果が薄くなる。
イ：証拠の十分性が不足する。
ウ：手続数を増やすより、設問に対応した具体的な監査を深く説明する方が有効である。
エ：論点がずれる。
総合解説：論述時間と字数を考え、設問が評価したい能力を示す重要な監査手続へ集中する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0048

論文構成・論理展開 > 本論（監査手続・証拠・判断） | 難易度：標準

【論述演習】監査判断を具体的に示す記述として最も適切なものはどれか。

- ア．『問題ないと思った』
- イ．『全て完全に有効である』
- ウ．『担当者も大丈夫と言っていた』
- エ．『抽出した30件すべてで承認を確認したため、対象期間の変更承認統制は概ね運用されていると判断した。ただし緊急変更は別途評価した』

答え・解説

正答：エ

ア：根拠と評価範囲が不明である。
イ：証拠範囲を超える断定になりやすい。
ウ：監査人自身の評価が不足する。
エ：証拠、判断、限定条件が明確である。
総合解説：判断では、証拠で確認した範囲、例外、残る制約を明示すると説得力が高まる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0049

論文構成・論理展開 > 本論（監査手続・証拠・判断） | 難易度：応用

【論述演習】本論で『監査要点』を明確にする最も適切な方法はどれか。

- ア．各リスクについて『どの統制がどの状態なら適切と判断するか』を一文で定義する
- イ．監査要点を専門用語の一覧にする
- ウ．監査要点と監査手続を同一文として曖昧にする
- エ．監査要点を結論後に決める

答え・解説

正答：ア

ア：監査要点が明確なら、必要な手続と証拠を選びやすい。

イ：評価観点が分からない。

ウ：何を評価するかと、どう確認するかを区別した方が明確である。

エ：監査設計の順序が逆である。

総合解説：例えば『重要変更が権限者に承認され、テスト後に本番反映されること』のように期待状態を具体化する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0050

論文構成・論理展開 > 本論（監査手続・証拠・判断） | 難易度：応用

【論述演習】本論のセルフレビューとして最も有効なものはどれか。

- ア．手続の数が多いか数える
- イ．各監査手続について『この手続で、提示したリスクに対するどの統制を確認したのか』を照合する
- ウ．専門用語が重複していないかだけを見る
- エ．一段落の文字数を揃える

答え・解説

正答：イ

ア：量だけでは質を評価できない。

イ：手続とリスク・統制の対応漏れを検出できる。

ウ：監査論理の確認にならない。

エ：内容の妥当性とは関係しない。

総合解説：リスク→統制→手続→証拠→判断の線が切れていないかを確認する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0051

論文構成・論理展開 > 結論（指摘・改善提案・フォロー） | 難易度：基礎

【論述演習】結論で最も優先して示すべき内容はどれか。

- ア．序論の会社概要を再度詳しく書く
- イ．新しいリスクを初めて追加する
- ウ．監査目的に対する総合評価と、重要な指摘・改善の方向性
- エ．監査手続を全てもう一度列挙する

答え・解説

正答：ウ

ア：結論の役割ではない。
イ：本論で検証していない論点は避ける。
ウ：結論は本論の証拠・判断を監査目的へ戻して要約する。
エ：要約と評価が中心である。
総合解説：結論では監査目的に対する判断、重要指摘、改善提案、必要に応じフォローアップを簡潔にまとめる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0052

論文構成・論理展開 > 結論（指摘・改善提案・フォロー） | 難易度：基礎

【論述演習】指摘事項から改善提案へつなげる記述として最も適切なものはどれか。

- ア．未承認変更に対しパスワード変更だけを提案する
- イ．原因を確認せず製品購入を提案する
- ウ．指摘と無関係な教育テーマを提案する
- エ．未承認変更の原因が緊急変更手続の不備だったため、事後承認・テスト・レビューを含む緊急変更手順の整備を提案した

答え・解説

正答：エ

ア：指摘の原因へ直接対応していない。
イ：実現可能性と適合性が不明である。
ウ：論理的なつながりがない。
エ：原因とリスクに対応した改善提案になっている。
総合解説：改善提案は指摘された統制不備の原因・影響へ直接対応し、実施可能であることが重要である。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0053

論文構成・論理展開 > 結論（指摘・改善提案・フォロー） | 難易度：基礎

【論述演習】改善提案の実現可能性を示す記述として最も適切なものはどれか。

- ア．短期は代替統制を導入し、次期更改で恒久対策を実装する段階的な計画を示す
- イ．最も高価な対策を無条件に要求する
- ウ．理想状態だけを書き期限や責任者を示さない
- エ．改善は対象部門へ任せるとして提案しない

答え・解説

正答：ア

ア：費用・期間・業務影響を踏まえた現実的な提案である。

イ：費用対効果を考慮していない。

ウ：実行可能性が不明である。

エ：助言機能を十分に果たさない。

総合解説：結論では、リスク低減効果だけでなく費用・期間・組織制約を踏まえた提案を示すと実務性が高い。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0054

論文構成・論理展開 > 結論（指摘・改善提案・フォロー） | 難易度：標準

【論述演習】フォローアップまで論文で示す場合、最も適切な内容はどれか。

- ア．改善提案を出した時点で監査人の役割は必ず終了する
- イ．改善計画の期限・責任者・完了証拠を確認し、実施後に統制の運用有効性を再確認する
- ウ．対象部門の完了宣言だけでクローズする
- エ．監査人が自ら改善作業を実施する

答え・解説

正答：イ

ア：フォローアップも監査人の役割に含まれる。

イ：改善提案が実際のリスク低減へつながったかを確認する必要がある。

ウ：客観的証拠で確認する必要がある。

エ：独立性を損なう。

総合解説：監査結果を報告し、改善状況を確認することはシステム監査人の主要な役割である。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0055

論文構成・論理展開 > 結論（指摘・改善提案・フォロー） | 難易度：標準

【論述演習】本論では一部統制に不備があったが、補完統制により残存リスクが低減されていた。結論として最も適切なものはどれか。

- ア．不備が一つでもあれば全統制無効とする
- イ．補完統制があるので不備自体を記載しない
- ウ．不備と補完統制の双方を踏まえ、残存リスクが許容可能かを総合評価する
- エ．残存リスクは評価しない

答え・解説

正答：ウ

ア：過度な一般化である。

イ：改善すべき弱点を隠す。

ウ：一つの不備だけで全体を断定せず、統制全体を評価する。

エ：監査の重要な判断である。

総合解説：結論では個別発見事項を統合し、監査目的に対して最終的にどの程度リスクが管理されているか示す。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0056

論文構成・論理展開 > 結論（指摘・改善提案・フォロー） | 難易度：標準

【論述演習】監査対象部門が改善提案に反対している場合、結論で最も適切な扱いはどれか。

- ア．反対された改善提案を自動的に削除する
- イ．反対意見を一切聞かない
- ウ．感情的な批判を結論へ追加する
- エ．反対理由を検討し、監査証拠に基づく結論を維持する場合は、その根拠を明確にする

答え・解説

正答：エ

ア：独立性を損なう。

イ：実現可能性や追加情報を見逃す。

ウ：客観性を損なう。

エ：対象部門の意見を考慮しつつ、最終判断は独立して行う。

総合解説：監査報告は公正かつ客観的に行い、必要に応じ対象部門の見解も整理する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0057

論文構成・論理展開 > 結論（指摘・改善提案・フォロー） | 難易度：標準

【論述演習】結論の説得力を最も高めるものはどれか。

- ア．本論で示した具体的な証拠・判断と一貫し、監査目的への回答になっていること
- イ．強い表現を多用すること
- ウ．専門用語を増やすこと
- エ．本論とは異なる事例を追加すること

答え・解説

正答：ア

ア：結論は新しい主張ではなく、本論の論理的帰結であるべきである。

イ：表現の強さは根拠の代わりにならない。

ウ：一貫性や証拠が重要である。

エ：論文の整合性を損なう。

総合解説：良い結論は、監査目的→証拠→判断→指摘・改善の流れを簡潔に再構成する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0058

論文構成・論理展開 > 結論（指摘・改善提案・フォロー） | 難易度：標準

【論述演習】フォローアップ結果として改善が予定より遅れている場合、最も適切な結論記述はどれか。

- ア．遅延したので監査指摘を削除する
- イ．遅延理由、残存リスク、暫定統制、再計画を評価し、必要な経営報告を行ったことを示す
- ウ．改善期限を過ぎれば自動的に完了扱いする
- エ．監査人が無断で改善を実施する

答え・解説

正答：イ

ア：リスクは残っている。

イ：単なる期限超過の記録ではなく、リスク管理としてフォローする。

ウ：実態と異なる。

エ：業務執行への関与となる。

総合解説：フォローアップでは未改善事項のリスクを継続評価し、必要に応じエスカレーションする。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0059

論文構成・論理展開 > 結論（指摘・改善提案・フォロー） | 難易度：応用

【論述演習】結論で避けるべき最も典型的な問題はどれか。

- ア．本論の重要結果を要約する
- イ．改善提案を優先順位付けする
- ウ．本論で検証していない新しい重大指摘を突然追加する
- エ．フォローアップ方針を示す

答え・解説

正答：ウ

ア：結論として適切である。
イ：実務的な結論になり得る。
ウ：根拠のない新規論点は論文の一貫性と説得力を損なう。
エ：監査プロセスとして適切である。
総合解説：結論は本論で立証した内容に限定し、監査目的への回答としてまとめる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0060

論文構成・論理展開 > 結論（指摘・改善提案・フォロー） | 難易度：応用

【論述演習】論文全体の最終レビューとして最も適切な確認はどれか。

- ア．各段落の文字数が完全に同じか
- イ．同じ専門用語を多数繰り返したか
- ウ．会社概要が最も長い
- エ．序論の背景、提示したリスク、監査手続・証拠、結論・改善提案が一つの因果関係でつながっているか

答え・解説

正答：エ

ア：内容の一貫性とは関係しない。
イ：説得力を保証しない。
ウ：論述の中心は監査判断である。
エ：論文の一貫性を最終確認する観点である。
総合解説：論述式では設問適合性、具体性、監査証拠、論理一貫性を最後に確認する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0061

監査計画・実施テーマ> リスクアプローチ・監査計画 | 難易度：基礎

【論述演習】年間監査計画で重点テーマを決める際、リスクベースの考え方を最も適切に表しているものはどれか。

- ア．監査対象候補の重要性・発生可能性・影響を評価し、高リスク領域へ監査資源を重点配分する
- イ．全監査対象へ同じ工数を配分する
- ウ．監査人が得意な領域だけを選ぶ
- エ．前年監査した領域は無条件に除外する

答え・解説

正答：ア

ア：限られた時間と人員を重要リスクへ集中させるのがリスクアプローチの基本である。

イ：リスク差を反映できない。

ウ：組織のリスクと対応しない。

エ：環境変化や残存リスクを考慮していない。

総合解説：監査計画は経営上の重要性、リスク、過去監査結果、環境変化、監査資源を踏まえて策定する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0062

監査計画・実施テーマ> リスクアプローチ・監査計画 | 難易度：基礎

【論述演習】中長期監査計画と個別監査計画の関係として最も適切なものはどれか。

- ア．個別監査計画は中長期計画と無関係に作成する
- イ．中長期の監査方針・重点領域を年度計画へ落とし込み、個別監査では対象固有の目的・手続まで具体化する
- ウ．中長期計画に全監査手続の詳細を書く
- エ．年度計画を作らず個別監査だけ行う

答え・解説

正答：イ

ア：組織の監査方針との整合が失われる。

イ：計画は階層的に具体化される。

ウ：詳細は個別計画で具体化する。

エ：全体の資源・優先順位を管理しにくい。

総合解説：論述では、組織全体の監査ニーズと個別テーマの具体的リスクがどうつながるか説明すると実務性が高い。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0063

監査計画・実施テーマ> リスクアプローチ・監査計画 | 難易度：基礎

【論述演習】監査計画時に過去の指摘事項を利用する方法として最も適切なものはどれか。

- ア．前年の指摘件数だけで今年の計画を決める
- イ．一度改善済みなら永遠に確認しない
- ウ．未改善・再発・横断的な指摘をリスク評価へ反映し、監査優先度や重点手続を調整する
- エ．過去指摘を監査対象部門の責任として計画から除外する

答え・解説

正答：ウ

ア：内容や改善状況を見ていない。

イ：環境変化や再発可能性がある。

ウ：過去監査結果は将来リスク評価の重要な入力情報である。

エ：監査リスク評価へ活用すべきである。

総合解説：再発傾向や重大未改善事項は、次年度監査やフォローアップの重点領域になる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0064

監査計画・実施テーマ> リスクアプローチ・監査計画 | 難易度：標準

【論述演習】新規AIサービスを監査対象に加えるか判断する際、最も適切な基準はどれか。

- ア．AIという名称があるだけで必ず最優先にする
- イ．過去監査実績がないので対象外とする
- ウ．利用者数だけで判断する
- エ．経営上の重要性、扱うデータ、意思決定への影響、外部依存、統制成熟度を評価する

答え・解説

正答：エ

ア：技術名だけではリスクを判断できない。

イ：むしろ新規リスクがある可能性がある。

ウ：重要度の一要素にすぎない。

エ：新技術だから自動的に高リスクとするのではなく、組織固有の利用状況を評価する。

総合解説：監査計画は経営環境や技術変化に応じて見直し、新たなリスクを反映する必要がある。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0065

監査計画・実施テーマ> リスクアプローチ・監査計画 | 難易度：標準

【論述演習】個別監査計画で最も重要な記載の組合せはどれか。

- ア．監査目的、対象・範囲、リスク・監査要点、手続、担当、日程、必要証拠
- イ．監査人の経歴と趣味だけ
- ウ．監査報告書の完成形だけ
- エ．対象部門の組織図だけ

答え・解説

正答：ア

ア：個別監査の実施とレビューに必要な要素を網羅している。

イ：監査実施計画にならない。

ウ：証拠収集前に結論を固定するのは不適切である。

エ：監査目的や手続が不足する。

総合解説：論文で計画を論じる場合は、目的から手続まで一貫した監査設計を示す。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0066

監査計画・実施テーマ> リスクアプローチ・監査計画 | 難易度：標準

【論述演習】監査計画策定後に重大インシデントが発生した。最も適切な対応はどれか。

- ア．計画済みなのでインシデントを無視する
- イ．当初リスク評価と監査目的への影響を見直し、必要なら対象・手続・日程を変更する
- ウ．監査を必ず全て中止する
- エ．対象部門の希望どおりにだけ変更する

答え・解説

正答：イ

ア：重要リスクを反映できない。

イ：監査計画は重要な環境変化に応じて更新する必要がある。

ウ：変更して継続できる場合がある。

エ：監査人がリスクに基づき判断する。

総合解説：計画変更は理由、影響、承認、変更内容を記録し、監査品質を維持する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0067

監査計画・実施テーマ> リスクアプローチ・監査計画 | 難易度：標準

【論述演習】監査資源が不足している場合の最も適切な対応はどれか。

- ア．全手続を同じ割合で浅くする
- イ．高リスク領域を時間がかかるため除外する
- ウ．重要リスクへの手続を優先し、低リスク領域は範囲や深度を調整し、必要なら専門家を活用する
- エ．証拠収集を対象部門へ全面委任する

答え・解説

正答：ウ

ア：重要リスクの証拠が不足する可能性がある。

イ：監査目的を損なう。

ウ：品質を落とさずにリスクベースで資源配分する。

エ：監査人の責任を放棄する。

総合解説：監査責任者は人員、期間、専門能力を踏まえ、重点領域へ適切に資源を配分する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0068

監査計画・実施テーマ> リスクアプローチ・監査計画 | 難易度：標準

【論述演習】監査計画に専門家を組み込むべき場面として最も適切なものはどれか。

- ア．監査人が説明を書くのが面倒な場合
- イ．全ての監査判断を専門家へ丸投げする
- ウ．対象部門の希望だけで専門家を選ぶ
- エ．暗号・AIモデルなど監査チームに不足する高度専門知識が監査目的達成に不可欠な場合

答え・解説

正答：エ

ア：専門家活用理由にならない。

イ：最終的な監査判断の責任は監査側に残る。

ウ：独立性や能力を評価する必要がある。

エ：必要な専門能力を補うため専門家を活用する。

総合解説：外部専門家を使う場合も、能力・独立性・役割・成果物・レビュー方法を計画する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0069

監査計画・実施テーマ> リスクアプローチ・監査計画 | 難易度：応用

【論述演習】監査対象部門への事前通知に最も適切な内容はどれか。

- ア．監査目的、対象・期間、必要資料、実施予定、窓口など、監査実施に必要な事項
- イ．詳細なサンプル対象を全て事前開示する
- ウ．監査結論を事前に通知する
- エ．監査目的を一切知らせない

答え・解説

正答：ア

ア：円滑な監査実施のため必要情報を共有するが、監査の独立性を損なわないようにする。

イ：監査目的によっては操作・準備の余地を与える可能性がある。

ウ：証拠収集前に結論を決めてはならない。

エ：通常の監査協力を得にくくなる。

総合解説：監査計画では必要なコミュニケーションと監査の実効性・独立性のバランスを取る。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0070

監査計画・実施テーマ> リスクアプローチ・監査計画 | 難易度：応用

【論述演習】リスクアプローチの監査計画を論文で説得的に示す最も適切な方法はどれか。

- ア．『リスクベースで計画した』とだけ書く
- イ．対象リスクの優先順位付け根拠と、その順位に応じて監査範囲・工数・手続を変えたことを具体的に説明する
- ウ．リスク表を作ったことだけを書く
- エ．全対象へ同じ手続を実施したと書く

答え・解説

正答：イ

ア：具体的に何を変えたか分からない。

イ：リスク評価と実際の監査計画が対応していることを示せる。

ウ：計画への反映が不明である。

エ：リスクアプローチの効果が示せない。

総合解説：論述では評価結果が監査対象、深度、サンプリング、担当者配置へどう反映されたかを書く。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0071

監査計画・実施テーマ > 監査技法・CAAT・監査証拠 | 難易度：基礎

【論述演習】監査技法を選択する際の基本原則として最も適切なものはどれか。

- ア．自分が最も慣れた技法だけを全監査で使う
- イ．技法の種類が多いほど必ず良い監査になる
- ウ．監査要点と必要な証拠の種類に応じて、閲覧・観察・質問・再実施・CAAT等を選ぶ
- エ．監査証拠を考えず技法を先に決める

答え・解説

正答：ウ

ア：監査要点に適合しない場合がある。

イ：目的との適合性が重要である。

ウ：技法は目的ではなく、必要な監査証拠を得る手段である。

エ：手段が目的化している。

総合解説：論述では、なぜその技法を使い、どの証拠から何を確認するかを説明する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0072

監査計画・実施テーマ > 監査技法・CAAT・監査証拠 | 難易度：基礎

【論述演習】大量取引から異常値を発見する監査でCAATを選ぶ理由として最も適切なものはどれか。

- ア．CAATを使えば監査判断が不要になる
- イ．データ品質確認が不要になる
- ウ．例外が出れば全て不正と判定できる
- エ．全件又は大量データを一定条件で分析し、人手では見つけにくい例外を効率的に抽出できる

答え・解説

正答：エ

ア：結果の解釈・追加検証は監査人が行う。

イ：入力データの完全性・正確性が重要である。

ウ：例外候補は追加確認が必要である。

エ：CAATの特性を監査目的へ対応付けている。

総合解説：CAATでは母集団、抽出条件、ロジック、例外検証を具体的に論述する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0073

監査計画・実施テーマ > 監査技法・CAAT・監査証拠 | 難易度：基礎

【論述演習】CAATで抽出した20件の異常取引を監査証拠として使う際、最も適切な次の手続はどれか。

- ア．元伝票、承認記録、担当者説明等を確認し、各例外が統制逸脱が正当な例外か判断する
- イ．20件全てを不正と断定する
- ウ．抽出結果だけを監査報告へ掲載する
- エ．異常件数が多いため分析条件を削除する

答え・解説

正答：ア

ア：分析結果だけでは指摘事項を確定できない。

イ：誤検出や正当な例外があり得る。

ウ：原因・影響の評価が不足する。

エ：監査証拠を損なう。

総合解説：データ分析は監査手掛かりを得る手段であり、個別証拠との突合で事実を確定する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0074

監査計画・実施テーマ > 監査技法・CAAT・監査証拠 | 難易度：標準

【論述演習】監査証拠の『十分性』を論文で示す最も適切な記述はどれか。

- ア．資料をたくさん見た
- イ．リスクと統制頻度を踏まえ、対象期間をカバーするサンプル数を確保し、重要例外は追加確認した
- ウ．一件だけ確認して全期間有効とした
- エ．担当者が大丈夫と言ったので十分とした

答え・解説

正答：イ

ア：量の妥当性が分らない。

イ：証拠量が監査結論を支えるのに十分であることを具体的に説明している。

ウ：十分性に疑問がある。

エ：客観的な証拠量を示していない。

総合解説：十分性は量的側面であり、リスク・証拠品質・母集団・統制頻度に応じて判断する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0075

監査計画・実施テーマ > 監査技法・CAAT・監査証拠 | 難易度：標準

【論述演習】監査証拠の『適切性』を高める方法として最も適切なものはどれか。

- ア．証拠の枚数だけ増やす
- イ．監査人に都合のよい証拠だけ選ぶ
- ウ．監査目的に直接関連し、信頼性の高い情報源から得た証拠を選び、真正性も必要に応じ確認する
- エ．対象期間外の資料だけを使う

答え・解説

正答：ウ

ア：量は十分性の側面である。

イ：客観性を損なう。

ウ：適切性は証拠の質・関連性・信頼性に関係する。

エ：監査対象への関連性が低い。

総合解説：論文では、なぜその証拠が監査要点を裏付けるのかを説明する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0076

監査計画・実施テーマ > 監査技法・CAAT・監査証拠 | 難易度：標準

【論述演習】生成AIを監査資料の一次分類に使う場合、最も適切な統制はどれか。

- ア．AI出力を監査証拠として無条件に採用する
- イ．入力資料を無制限に外部AIへ送る
- ウ．分析条件を記録しない
- エ．機密情報の取扱いを管理し、分類精度を検証し、重要資料は人が原文を確認する

答え・解説

正答：エ

ア：誤分類・誤生成の可能性がある。

イ：秘密保持上の問題がある。

ウ：再現性が失われる。

エ：AI出力の誤りと情報漏えいリスクを管理する必要がある。

総合解説：AIは補助ツールとして使い、入力・処理・出力・人手確認を統制する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0077

監査計画・実施テーマ > 監査技法・CAAT・監査証拠 | 難易度：標準

【論述演習】同じ監査対象について、口頭説明とシステムログが食い違った。監査人の対応として最も適切なものはどれか。

- ア．情報源と信頼性を比較し、追加手続で矛盾原因を確認してから判断する
- イ．自分の仮説に合う証拠だけ採用する
- ウ．両方の証拠を破棄する
- エ．役職の高い人の説明を無条件で優先する

答え・解説

正答：ア

ア：一方の証拠を恣意的に選ばず、合理的に整合性を評価する。

イ：確証バイアスとなる。

ウ：重要な情報を失う。

エ：証拠品質を評価していない。

総合解説：監査人は公正不偏に証拠を評価し、必要な追加手続を行う。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0078

監査計画・実施テーマ > 監査技法・CAAT・監査証拠 | 難易度：標準

【論述演習】監査技法として『観察』を使う際の限界として最も適切なものはどれか。

- ア．観察は監査証拠にならない
- イ．観察した時点では統制が実施されていても、対象期間を通じて常に実施されたとは限らない
- ウ．観察すれば過去の全期間を証明できる
- エ．観察では対象者と会話してはならない

答え・解説

正答：イ

ア：有効な監査技法である。

イ：観察は特定時点の直接証拠であり、継続運用は他証拠で補完することがある。

ウ：時点証拠の限界がある。

エ：必要に応じ質問と組み合わせられる。

総合解説：論文で技法を使う場合、その強みと限界を踏まえて証拠を組み合わせると説得力が高い。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0079

監査計画・実施テーマ > 監査技法・CAAT・監査証拠 | 難易度：応用

【論述演習】再実施が特に有効な場面はどれか。

- ア．経営方針の背景を理解する場合
- イ．会社沿革を確認する場合
- ウ．自動計算やアクセス拒否など、統制ロジックが仕様どおり動くかを監査人自身が確かめる場合
- エ．契約条項の有無を調べる場合

答え・解説

正答：ウ

ア：インタビューや文書閲覧が適している。

イ：再実施の対象ではない。

ウ：統制の動作を直接確認できる。

エ：文書閲覧が直接的である。

総合解説：テストデータや再計算などを用いて統制の動作を直接確認する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0080

監査計画・実施テーマ > 監査技法・CAAT・監査証拠 | 難易度：応用

【論述演習】監査証拠を論文中で具体化するセルフチェックとして最も有効なものはどれか。

- ア．証拠という単語を何回使ったか数える
- イ．資料とだけ書けば十分とする
- ウ．ログと書けば種類を示さなくてよい
- エ．『第三者がこの記述を読んで、どの資料・ログ・記録を入手したか特定できるか』を確認する

答え・解説

正答：エ

ア：具体性を評価できない。

イ：何の資料が分からない。

ウ：採点講評で指摘される曖昧さにつながる。

エ：証拠名称が具体的かを簡潔に確認できる。

総合解説：公式採点講評では、具体的でない監査証拠が繰り返し指摘されている。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0081

監査計画・実施テーマ > 品質管理・独立性・倫理 | 難易度：基礎

【論述演習】システム監査人の独立性を論文で示す最も適切な記述はどれか。

- ア．自分が業務執行に関与していない対象を監査し、監査結果を対象部門から独立した報告経路で報告した
- イ．自分が設計した統制を自分で承認・監査した
- ウ．対象部門長の承認がなければ指摘を出さない
- エ．対象部門の希望する結論に合わせた

答え・解説

正答：ア

ア：監査対象からの独立性と報告上の独立性を具体的に示している。
イ：自己監査の脅威がある。
ウ：監査判断の独立性を損なう。
エ：客観性に反する。
総合解説：システム監査人は独立・客観的な立場から保証又は助言を行う。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0082

監査計画・実施テーマ > 品質管理・独立性・倫理 | 難易度：基礎

【論述演習】客観性を維持する行動として最も適切なものはどれか。

- ア．最初の仮説を証明する証拠だけ集める
- イ．自分の仮説に反する証拠も収集・評価し、判断理由を監査調書へ残す
- ウ．対象部門の説明を常に虚偽と決めつける
- エ．反対証拠を報告から削除する

答え・解説

正答：イ

ア：確証バイアスとなる。
イ：公正不偏な証拠評価は客観性の中核である。
ウ：偏見に基づく。
エ：客観性を損なう。
総合解説：論文では、意見対立や矛盾証拠へどう公正に対応したかを書くとき監査人としての見識を示せる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0083

監査計画・実施テーマ > 品質管理・独立性・倫理 | 難易度：基礎

【論述演習】正当な注意を示す行動として最も適切なものはどれか。

- ア．全ての不正を100%発見すると保証する
- イ．期限優先で証拠不足のまま結論を断定する
- ウ．重要なリスクを見逃さないよう必要な専門能力を確保し、証拠不足時には追加手続を行う
- エ．専門知識が不足していても推測で判断する

答え・解説

正答：ウ

ア：正当な注意は絶対保証を意味しない。

イ：監査品質を損なう。

ウ：専門家として合理的に期待される注意を尽くしている。

エ：必要能力を確保すべきである。

総合解説：監査人は専門能力と職業的懐疑心を持ち、重要な判断には十分な根拠を得る。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0084

監査計画・実施テーマ > 品質管理・独立性・倫理 | 難易度：標準

【論述演習】監査対象部門から高額な贈答を受ける提案を受けた場合、最も適切な対応はどれか。

- ア．結論に影響しない自信があれば受け取る
- イ．受け取ったことを監査チームに隠す
- ウ．受領後に対象部門へ有利な報告へ変更する
- エ．倫理規程に従って受領を避け、必要に応じ利益相反として報告する

答え・解説

正答：エ

ア：第三者から見た独立性への疑念が残る。

イ：利益相反管理ができない。

ウ：重大な倫理違反である。

エ：実質的・外観上の客観性を維持する必要がある。

総合解説：論文で倫理を扱う場合、抽象的な『高い倫理観』だけでなく具体的な行動を示す。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0085

監査計画・実施テーマ > 品質管理・独立性・倫理 | 難易度：標準

【論述演習】秘密保持の観点から、監査資料の扱いとして最も適切なものはどれか。

- ア：監査目的に必要な範囲で利用し、アクセス制御された保管先へ保存し、規程に従い廃棄する
- イ：個人クラウドへ無断で保存する
- ウ：家族へ内容を説明する
- エ：監査終了後に自由に持ち帰る

答え・解説

正答：ア

ア：取得から保管・共有・廃棄まで機密情報を管理する。

イ：情報漏えいリスクがある。

ウ：正当な理由のない第三者開示となる。

エ：組織の文書管理・秘密保持に反する。

総合解説：監査調書・証拠には機密情報が含まれるため、最小権限と文書管理を徹底する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0086

監査計画・実施テーマ > 品質管理・独立性・倫理 | 難易度：標準

【論述演習】担当者が作成した監査調書と報告案の品質を担保するため、レビュー担当者が行うべき確認として最も適切なものはどれか。

- ア：担当者本人だけが最終確認する
- イ：監査計画、主要な証拠・調書、重要判断、報告書の整合を経験者が適時確認する
- ウ：報告書発行後だけレビューする
- エ：対象部門が監査結論を承認する

答え・解説

正答：イ

ア：独立した視点が不足する。

イ：レビューによって証拠不足・論理飛躍・要求漏れを検出する。

ウ：事前に問題を是正できない。

エ：監査判断の独立性を損なう。

総合解説：論文では、監査実施だけでなく監査品質をどう管理したかを示すことも重要である。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0087

監査計画・実施テーマ > 品質管理・独立性・倫理 | 難易度：標準

【論述演習】監査チーム内で担当者の専門能力に差がある場合、品質管理として最も適切な対応はどれか。

- ア．難しい領域も経験の浅い担当者へ単独で任せる
- イ．能力差を無視して全員同じ役割にする
- ウ．担当割当てを能力に応じて行い、不足領域は教育・専門家支援・レビューで補う
- エ．専門家へ全責任を移す

答え・解説

正答：ウ

ア：品質リスクが高い。
イ：適切な資源配置にならない。
ウ：監査目的に必要な能力をチーム全体で確保する。
エ：監査責任者の品質管理責任は残る。
総合解説：監査責任者は必要スキルを把握し、教育・支援・レビューを計画する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0088

監査計画・実施テーマ > 品質管理・独立性・倫理 | 難易度：標準

【論述演習】監査報告の品質を高める最も適切な方法はどれか。

- ア．表現を強くするため誇張する
- イ．指摘件数を多くする
- ウ．技術用語を増やして難しくする
- エ．指摘ごとに事実・評価基準・影響・証拠・改善提案の論理整合をレビューする

答え・解説

正答：エ

ア：客観性を損なう。
イ：件数は品質指標ではない。
ウ：明瞭性を損なう。
エ：報告内容が証拠に基づき、読み手に理解可能であることを確認する。
総合解説：監査報告は正確・客観的・明瞭で、監査証拠と結論の対応が追跡可能であることが重要である。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0089

監査計画・実施テーマ > 品質管理・独立性・倫理 | 難易度：応用

【論述演習】監査対象部門の責任者から『重大指摘を削除してほしい』と圧力を受けた。最も適切な対応はどれか。

ア：証拠と評価基準に基づく判断を維持し、必要に応じ定められた上位報告経路へエスカレーションする

イ：指示に従って削除する

ウ：証拠を廃棄する

エ：報復的に指摘を増やす

答え・解説

正答：ア

ア：不当な圧力下でも独立性・客観性を守る必要がある。

イ：監査の信頼性を損なう。

ウ：重大な不正行為である。

エ：公正不偏な監査ではない。

総合解説：論述では、監査規程・報告経路を利用して独立性を守る具体的対応を示す。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0090

監査計画・実施テーマ > 品質管理・独立性・倫理 | 難易度：応用

【論述演習】品質管理・独立性・倫理を論文に入れる際の最も適切な方針はどれか。

ア：『倫理を重視した』とだけ書く

イ：監査テーマに関連する具体的な場面で、レビュー・利益相反回避・秘密保持などを実際の行動として示す

ウ：本文の監査テーマと無関係に倫理用語を列挙する

エ：倫理を論じるため監査手続を省略する

答え・解説

正答：イ

ア：具体的な行動が分らない。

イ：抽象的な標語ではなく、監査プロセスの中で実践したことを書くと言説力が高い。

ウ：論文の一貫性を損なう。

エ：監査の中心論点を失う。

総合解説：監査人の見識は、独立性・客観性・正当な注意・秘密保持を実務でどう守ったかによって示せる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0091

監査対象別論述テーマ> 開発・アジャイル・プロジェクト | 難易度：基礎

【論述演習】大規模システム再構築プロジェクトの監査を論じる。設問が『プロジェクト固有のリスクと監査手続』を求める場合、最も適切な論点はどれか。

- ア．一般的なパスワード管理だけを詳述する
- イ．開発言語の特徴だけを説明する
- ウ．複数ベンダ・段階移行・要件変更による納期・品質・責任分界のリスクを示し、変更承認・成果物・進捗・受入証拠を確認する
- エ．プロジェクト管理は担当者に任せ、監査手続は書かない

答え・解説

正答：ウ

ア：プロジェクト固有のリスクとの対応が弱い。

イ：監査上のリスク・コントロール・証拠へ展開できていない。

ウ：プロジェクトの特徴から固有リスクを具体化し、そのリスクに対応する監査手続へつなげている。

エ：設問要求を満たさない。

総合解説：開発・プロジェクト監査では、要件変更、進捗、品質、契約、移行、受入などを、対象案件の特徴に応じて具体化する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0092

監査対象別論述テーマ> 開発・アジャイル・プロジェクト | 難易度：基礎

【論述演習】アジャイル開発の監査論文で、最も適切な監査要点はどれか。

- ア．変更回数をゼロにできているか
- イ．詳細設計書を最初に全て完成させたか
- ウ．スプリント数が多いほど成功と判断する
- エ．プロダクトバックログの優先順位、Doneの定義、レビュー結果、変更判断が権限者の意思決定と追跡可能な証拠で管理されているか

答え・解説

正答：エ

ア：アジャイルの特性を否定している。

イ：必ずしもアジャイルの管理要件ではない。

ウ：回数だけでは価値・品質を評価できない。

エ：アジャイルの反復・変更を前提に、価値・品質・説明責任を評価できる。

総合解説：論述ではウォーターフォール型の統制をそのまま当てはめず、アジャイル固有の意思決定・品質保証の仕組みを説明する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0093

監査対象別論述テーマ > 開発・アジャイル・プロジェクト | 難易度：基礎

【論述演習】CI/CDを利用する開発運用を監査テーマに選ぶ場合、本論で最も具体的に示すべき監査証拠はどれか。

- ア．コードレビュー記録、自動テスト結果、パイプライン設定変更履歴、本番デプロイログ
- イ．CI/CDという用語の定義だけ
- ウ．開発者の人数だけ
- エ．システム構成図だけ

答え・解説

正答：ア

ア：自動化された変更・品質・本番反映を裏付ける具体的な証拠である。

イ：監査証拠ではない。

ウ：変更統制の有効性を評価できない。

エ：必要な証拠の一部にはなり得るが、変更・テスト・デプロイ統制を直接裏付けない。

総合解説：高速・自動化された環境ほど、ソース管理、レビュー、テスト、パイプライン変更、本番反映の証拠を一連で示すと論述の具体性が高まる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0094

監査対象別論述テーマ > 開発・アジャイル・プロジェクト | 難易度：標準

【論述演習】プロジェクト監査の論文で、進捗遅延を扱う記述として最も適切なものはどれか。

- ア．進捗率が低いので担当者の能力不足と断定した
- イ．WBSのクリティカルパス、主要マイルストーン、未完了成果物、課題一覧を確認し、報告進捗率と実態の差を評価した
- ウ．会議で遅延と聞いたので監査を終了した
- エ．遅延日数だけを書き、監査要点を示さなかった

答え・解説

正答：イ

ア：原因を証拠なく断定している。

イ：単に『遅れていた』と書くより、どの証拠でどのように判断したかが具体的である。

ウ：客観的な裏付けが不足する。

エ：監査人としての評価が弱い。

総合解説：論文では進捗指標の算定根拠や成果物実態を確認し、数字と実態の整合を監査する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0095

監査対象別論述テーマ> 開発・アジャイル・プロジェクト | 難易度：標準

【論述演習】開発プロジェクトでEVMを用いた監査を論じる際、最も適切な書き方はどれか。

- ア．CPIが1未満なら必ずプロジェクト失敗と断定する
- イ．EVMという用語を使えば具体性が高いと考える
- ウ．CPI・SPIの数値だけでなく、出来高算定方法、基準計画の変更履歴、差異原因を確認したことを示す
- エ．基準計画が途中変更されても理由を確認しない

答え・解説

正答：ウ

ア：他の状況や原因を確認する必要がある。

イ：証拠・判断まで示す必要がある。

ウ：EVM指標の信頼性と解釈の妥当性まで監査している。

エ：指標の比較可能性を損なう可能性がある。

総合解説：数値指標は、その算定根拠・基準・異常時の対応まで示すことで監査論文としての実務性が高まる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0096

監査対象別論述テーマ> 開発・アジャイル・プロジェクト | 難易度：標準

【論述演習】本番移行をテーマにする論文で、最も重要なリスクと監査要点の組合せはどれか。

- ア．利用者数が多いリスク—ロゴデザインを確認する
- イ．移行日が休日であるリスク—開発言語を確認する
- ウ．システムが新しいリスク—担当者の勤続年数を確認する
- エ．重大欠陥を残したまま移行するリスク—移行判定基準、残存欠陥、承認、ロールバック計画が整備されているか

答え・解説

正答：エ

ア：リスクと監査要点が対応していない。

イ：監査要点が不適切である。

ウ：具体的な統制評価になっていない。

エ：リスクと、監査で確認すべき統制が直接対応している。

総合解説：本番移行では、完了基準、残存リスク受容、データ移行、切戻し、業務継続を具体的に論じる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0097

監査対象別論述テーマ > 開発・アジャイル・プロジェクト | 難易度：標準

【論述演習】複数ベンダが参加する開発プロジェクトを論じる際、背景説明として最も有効なものはどれか。

- ア．ベンダごとの担当範囲と依存関係、統合責任、契約上の成果物・検収条件を示す
- イ．各ベンダの会社沿革を詳細に書く
- ウ．ベンダ名だけを列挙する
- エ．契約条件を一切書かない

答え・解説

正答：ア

ア：複数ベンダ特有の責任分界・統合リスクへ自然につながられる。

イ：監査テーマとの関連が弱い。

ウ：役割とリスクが分らない。

エ：責任・成果物・検収の監査を具体化しにくい。

総合解説：開発論文では、対象案件の構造的特徴を背景に置き、その特徴から固有リスクを導く。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0098

監査対象別論述テーマ > 開発・アジャイル・プロジェクト | 難易度：標準

【論述演習】プロジェクトの品質監査で、論文の説得力を高める記述として最も適切なものはどれか。

- ア．品質は良かったとだけ書く
- イ．レビュー指摘件数、重大欠陥残数、再テスト結果などを示し、品質判定基準と照合して結論を述べる
- ウ．テストを実施したので品質は十分とする
- エ．不具合が一件でもあれば全品質統制を無効とする

答え・解説

正答：イ

ア：根拠がない。

イ：具体的な数値と評価基準を監査判断へ結び付けている。

ウ：結果と判定基準が必要である。

エ：重要性和傾向を評価する必要がある。

総合解説：論述では、品質に関する具体的な指標と監査証拠を用いて判断を示すと実務性が高まる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0099

監査対象別論述テーマ > 開発・アジャイル・プロジェクト | 難易度：応用

【論述演習】要件変更の統制不備を指摘した後、答案の結論で示す改善策として最も適切なものはどれか。

- ア：変更を全面禁止する
- イ：変更履歴を削除する
- ウ：重大要件変更について影響評価・承認・テスト・リリース判定を一連で管理し、変更履歴を追跡可能にする
- エ：監査人が変更承認者になる

答え・解説

正答：ウ

ア：事業に必要な変更まで妨げる。

イ：説明責任を失う。

ウ：要件変更リスクへ直接対応し、運用可能な統制改善である。

エ：業務執行への関与となる。

総合解説：改善提案は監査人が実装するのではなく、必要な統制要件と改善方向を示す。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0100

監査対象別論述テーマ > 開発・アジャイル・プロジェクト | 難易度：応用

【論述演習】開発・アジャイル・プロジェクトを題材にした答案の最終チェックとして最も重要なものはどれか。

- ア：アジャイル、DevOpsなどの用語数が多いか
- イ：プロジェクト管理知識をできるだけ広く列挙したか
- ウ：開発者の立場だけで論じ、監査人の判断を省略したか
- エ：選んだ開発方式の特徴から生じるリスク、統制、監査証拠が一貫しており、一般論だけになっていないか

答え・解説

正答：エ

ア：用語の多さは評価を保証しない。

イ：設問要求への集中が弱くなる。

ウ：システム監査技術者としての論述にならない。

エ：テーマ固有性と監査論理の両方を確認できる。

総合解説：論述式では、対象の特徴→固有リスク→統制→具体的監査手続・証拠→判断が一貫していることが重要である。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0101

監査対象別論述テーマ > 運用・クラウド・セキュリティ | 難易度：基礎

【論述演習】クラウドサービス監査をテーマにした場合、最も適切な固有リスクはどれか。

- ア．責任共有モデルや契約条件の認識不足により、利用者側で必要なアクセス・ログ・バックアップ統制が未実施となるリスク
- イ．インターネットを使うこと自体
- ウ．クラウドという名称が新しいこと
- エ．サーバが自社建物にないことだけ

答え・解説

正答：ア

ア：クラウド固有の責任分界と利用者側統制へ結び付いている。

イ：一般的すぎて固有リスクとして弱い。

ウ：リスクの影響を示していない。

エ：それ自体では監査上の損失・統制不足を説明していない。

総合解説：外部サービスでは、責任分界、契約、データ、可用性、ログ、出口管理などから固有リスクを導く。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0102

監査対象別論述テーマ > 運用・クラウド・セキュリティ | 難易度：基礎

【論述演習】SaaSの可用性を監査する論文で、最も適切な監査証拠はどれか。

- ア．SaaSのパンフレット
- イ．SLA、月次可用性実績、重大障害記録、通知時刻、復旧報告
- ウ．担当者の印象だけ
- エ．料金表だけ

答え・解説

正答：イ

ア：可用性の実績を証明しない。

イ：契約上の目標と実際のサービス実績を比較できる証拠である。

ウ：客観性が低い。

エ：サービス継続性を評価できない。

総合解説：論述では契約条件、実績、障害対応を結び付けると監査手順が具体的になる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0103

監査対象別論述テーマ> 運用・クラウド・セキュリティ | 難易度：基礎

【論述演習】セキュリティ監査でEDR導入を扱う場合、最も適切な監査要点はどれか。

- ア．EDR製品の知名度が高いか
- イ．アラート数が多いほど良いか
- ウ．重要アラートが適切に検知・優先順位付けされ、担当者が所定時間内に調査・封じ込め・記録しているか
- エ．導入済みなら運用確認は不要か

答え・解説

正答：ウ

ア：統制有効性とは直接関係しない。

イ：過剰アラートは見落としにつながる。

ウ：ツール導入の有無ではなく、検知から対応までの運用有効性を評価している。

エ：実効性を確認する必要がある。

総合解説：セキュリティ監査では、検知能力とSOC/CSIRTの実運用を一体で評価する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0104

監査対象別論述テーマ> 運用・クラウド・セキュリティ | 難易度：標準

【論述演習】重大インシデント対応を論じる答案で最も適切な流れはどれか。

- ア．復旧できれば証拠保全は不要とする
- イ．検知後すぐ全ログを削除する
- ウ．原因分析をせず復旧だけで完了する
- エ．検知→封じ込め→証拠保全→影響調査→復旧→原因分析・再発防止の各統制と証拠を示す

答え・解説

正答：エ

ア：原因調査・法的対応に必要な場合がある。

イ：証拠を失う。

ウ：再発防止へつながらない。

エ：インシデントライフサイクルに沿って監査要点を具体化できる。

総合解説：事故対応の各段階で、役割、時間、証拠、判断を示すと実務性が高い。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0105

監査対象別論述テーマ> 運用・クラウド・セキュリティ | 難易度：標準

【論述演習】クラウドの出口戦略を題材にする場合、最も適切な監査要点はどれか。

- ア．契約終了時のデータ返却形式、移行支援、削除証明、移行期間、費用が事前に定められているか
- イ．導入時の料金だけを確認する
- ウ．契約終了後に初めてデータ形式を確認する
- エ．事業者が有名なら出口条件は不要とする

答え・解説

正答：ア

ア：ロックインとデータ残存リスクへ対応する統制である。

イ：終了時リスクを評価できない。

ウ：事前設計が不足する。

エ：サービス終了・乗換えリスクは残る。

総合解説：外部サービス監査では導入・運用だけでなく終了時のデータ・継続性も重要な論点である。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0106

監査対象別論述テーマ> 運用・クラウド・セキュリティ | 難易度：標準

【論述演習】バックアップとDRをクラウド環境で論じる場合、最も適切な記述はどれか。

- ア．クラウドなのでバックアップは不要とした
- イ．想定障害範囲とRTO・RPOに照らし、バックアップ配置、復元手順、復元試験結果を監査した
- ウ．バックアップ件数だけ確認した
- エ．RTO・RPOを考慮せず全システムを同一扱いした

答え・解説

正答：イ

ア：利用者側の責任が残る場合がある。

イ：保存場所だけでなく事業継続要件と実効性を評価している。

ウ：復元可能性を評価できない。

エ：重要性を反映していない。

総合解説：バックアップ・DRは、障害シナリオ、復旧目標、配置、復元テストを一体で論じる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0107

監査対象別論述テーマ > 運用・クラウド・セキュリティ | 難易度：標準

【論述演習】特権ID監査の本論として最も適切なものはどれか。

- ア．管理者が少ないので問題なしとした
- イ．特権IDの名称だけ確認した
- ウ．特権ID台帳と承認記録を突合し、利用ログから高リスク操作を抽出し、不要ID・異常利用を確認した
- エ．ログを見ず担当者の説明だけで判断した

答え・解説

正答：ウ

ア：人数だけでは権限の適切性を評価できない。

イ：承認・利用・棚卸を確認できない。

ウ：付与の妥当性と実利用の双方を具体的証拠で確認している。

エ：重要統制の証拠として弱い。

総合解説：高権限については、付与、利用、定期レビュー、緊急アクセスを具体的に検証する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0108

監査対象別論述テーマ > 運用・クラウド・セキュリティ | 難易度：標準

【論述演習】サプライチェーンセキュリティをテーマにする場合、最も適切な背景設定はどれか。

- ア．委託先の会社数が多いだけ
- イ．外部企業を利用すること自体を全て禁止する
- ウ．自社内の端末台数だけを説明する
- エ．重要業務が複数の委託先・ソフトウェア供給者に依存し、一社の障害や侵害が自社サービスへ波及する

答え・解説

正答：エ

ア：重要性や依存関係を示していない。

イ：現実的な監査テーマにならない。

ウ：サプライチェーンの背景と関係しない。

エ：外部依存から固有の事業リスクを自然に導ける。

総合解説：外部依存の重要性、再委託、事故連絡、代替手段を具体化すると論述しやすい。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0109

監査対象別論述テーマ> 運用・クラウド・セキュリティ | 難易度：応用

【論述演習】運用・クラウド・セキュリティを組み合わせた複合テーマで、最も説得力のある結論はどれか。

- ア：検知・復旧統制は機能したが、委託先通知と特権権限管理に不備があり、残存リスク低減のため契約・運用双方の改善を提案した
- イ：障害が一度起きたのでクラウド利用を全面停止すべきとした
- ウ：EDRを導入しているので全セキュリティ統制は有効とした
- エ：委託先の問題なので自社側の改善は不要とした

答え・解説

正答：ア

ア：複数領域の証拠を統合し、残存リスクと改善へつなげている。

イ：過度な結論である。

ウ：他の統制を無視している。

エ：利用者側管理責任を見落としている。

総合解説：論述式では、個別発見事項を統合して監査目的への総合評価を示すことが重要である。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0110

監査対象別論述テーマ> 運用・クラウド・セキュリティ | 難易度：応用

【論述演習】運用・クラウド・セキュリティ答案の最終レビューで最も重要なものはどれか。

- ア：クラウド用語を多数使用したか
- イ：サービスの重要性、責任分界、具体的証拠、インシデント時の実効性が一貫して論じられているか
- ウ：セキュリティ製品名を詳細に列挙したか
- エ：運用担当者の経験年数だけを強調したか

答え・解説

正答：イ

ア：用語数は評価を保証しない。

イ：外部サービスとセキュリティの複合リスクを監査人の視点で確認できる。

ウ：監査証拠・判断が不足する。

エ：統制の有効性を示せない。

総合解説：テーマ固有のリスク、責任分界、証拠、監査判断、改善提案が一つの論理でつながっていることを確認する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0111

監査対象別論述テーマ > ガバナンス・BCP・データ / AI | 難易度：基礎

【論述演習】ITガバナンスをテーマにする場合、最も適切な監査対象はどれか。

- ア．個々のプログラムのコーディング規約だけ
- イ．日々のジョブ実行だけ
- ウ．経営戦略とIT戦略の整合、重要IT投資の意思決定、成果・リスクのモニタリング、説明責任
- エ．端末の壁紙設定だけ

答え・解説

正答：ウ

ア：ガバナンスの対象粒度より狭い。

イ：主に運用マネジメントの論点である。

ウ：ITガバナンスを経営レベルの方向付け・監督として捉えている。

エ：経営上のガバナンスと関係しない。

総合解説：ガバナンスでは、価値、リスク、資源、説明責任を経営目標と結び付けて評価する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0112

監査対象別論述テーマ > ガバナンス・BCP・データ / AI | 難易度：基礎

【論述演習】BCP監査を論じる際、最も具体的な監査証拠の組合せはどれか。

- ア．BCP文書の表紙だけ
- イ．システム名一覧だけ
- ウ．担当者の『訓練した』という説明だけ
- エ．BIA結果、RTO・RPO設定資料、DR手順、訓練結果、改善計画

答え・解説

正答：エ

ア：実効性を評価できない。

イ：復旧目標・手順を確認できない。

ウ：客観的な結果証拠が不足する。

エ：事業継続要件から実効性確認まで一連の証拠を示している。

総合解説：IT-BCP論述では、事業継続計画との整合と訓練による実効性確認を具体的に示す。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0113

監査対象別論述テーマ > ガバナンス・BCP・データ / AI | 難易度：基礎

【論述演習】AIガバナンスをテーマにする場合、最も適切なリスクと統制の組合せはどれか。

- ア．誤ったAI判断が重要業務へ影響するリスク—利用目的・データ品質・性能評価・人手レビュー・変更管理を統制する
- イ．AIを使うこと自体がリスク—利用者数を数える
- ウ．モデル名が長いリスク—名称を短くする
- エ．AIは自動なので統制不要—出力を無条件採用する

答え・解説

正答：ア

ア：AI利用のライフサイクル全体でリスクを低減する統制となっている。
イ：リスクと統制が具体的でない。
ウ：監査上のリスクではない。
エ：重要なリスクを放置する。
総合解説：AI監査では、データ、モデル、利用者、出力、モニタリング、変更を一連で評価する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0114

監査対象別論述テーマ > ガバナンス・BCP・データ / AI | 難易度：標準

【論述演習】データガバナンス論文で最も適切な監査要点はどれか。

- ア．データ量が多いほど良いか
- イ．重要データについて所有者、品質基準、アクセス権、変更履歴、利用目的が明確で継続的に管理されているか
- ウ．データ担当者が一人で自由に決めているか
- エ．全データを永久保存しているか

答え・解説

正答：イ

ア：量は品質や適正利用を保証しない。
イ：データの責任・品質・利用を組織的に統制する観点である。
ウ：説明責任が不足する。
エ：目的・法令・コストを無視している。
総合解説：データの所有、品質、分類、アクセス、ライフサイクルを監査テーマへ落とし込む。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0115

監査対象別論述テーマ > ガバナンス・BCP・データ / AI | 難易度：標準

【論述演習】AIモデルの再学習をテーマにした本論として最も適切なものはどれか。

- ア．精度が上がったので変更承認は不要とした
- イ．モデル名だけ記録した
- ウ．再学習データ、性能比較、承認記録、モデル版、デプロイ履歴を確認し、無承認変更や性能劣化がないか評価した
- エ．AIは自動更新されるため監査対象外とした

答え・解説

正答：ウ

ア：説明責任・再現性が不足する。
イ：変更内容・性能・承認を追跡できない。
ウ：AIモデル変更を通常の変更管理とモデル固有の品質評価の両面から監査している。
エ：重要業務へ影響する場合は監査対象となる。
総合解説：モデルライフサイクルの証拠を具体化すると、AI論文の実務性が高まる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0116

監査対象別論述テーマ > ガバナンス・BCP・データ / AI | 難易度：標準

【論述演習】DR訓練でRTO未達が判明した場合、答案で示す改善の進め方として最も適切なものはどれか。

- ア．RTOを実績に合わせて無条件に緩和する
- イ．訓練結果を記録しない
- ウ．BCP文書のページ数を増やす
- エ．訓練でRTO未達となった原因を分析し、復旧手順・要員・代替環境を改善して再訓練する

答え・解説

正答：エ

ア：事業要件を確認せず目標を変えるのは不適切である。
イ：改善につながらない。
ウ：実効性改善とは限らない。
エ：実証されたギャップに直接対応し、再検証まで含む改善である。
総合解説：監査では訓練結果から発見した課題を改善し、再訓練で有効性を確認するまでを論じると完成度が高い。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0117

監査対象別論述テーマ > ガバナンス・BCP・データ / AI | 難易度：標準

【論述演習】経営会議でAIリスクを審議しているが、重大リスクの受容理由が議事録に残っていない。最も適切な監査評価はどれか。

- ア．リスク意思決定の根拠と責任所在が追跡できず、AIガバナンスの説明責任が弱い
- イ．議事録がないのでAI利用は必ず違法である
- ウ．会議を開催していれば十分である
- エ．AIリスクは現場だけで判断すべきである

答え・解説

正答：ア

ア：経営レベルの意思決定証跡をガバナンスの観点から評価している。
イ：法的評価を断定できない。
ウ：判断根拠の記録が不足している。
エ：重大リスクは経営レベルの監督対象となり得る。
総合解説：ガバナンス論文では、誰が何を判断し、どの根拠でリスクを受容したかを具体的に示す。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0118

監査対象別論述テーマ > ガバナンス・BCP・データ / AI | 難易度：標準

【論述演習】BCPとデータガバナンスを組み合わせるテーマで、最も適切なリスクはどれか。

- ア．バックアップ媒体の色が異なるリスク
- イ．災害復旧後に重要データの完全性・最新性が保証できず、業務再開後に誤った処理を行うリスク
- ウ．データ量が多いこと自体
- エ．BCP文書が長いリスク

答え・解説

正答：イ

ア：事業影響と関係しない。
イ：復旧可否だけでなく、復旧データ品質を事業継続と結び付けている。
ウ：完全性・最新性のリスクを示していない。
エ：監査上の事業リスクではない。
総合解説：総合監査では、複数領域の接点で生じるリスクを具体化すると論述の深さが増す。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0119

監査対象別論述テーマ > ガバナンス・BCP・データ / AI | 難易度：応用

【論述演習】ガバナンス・BCP・データ / AIを題材とする結論として最も適切なものはどれか。

- ア．一つの不備からガバナンス全体を無効とした
- イ．AI精度が高いのでBCPも有効とした
- ウ．経営の方向付けは整備されている一方、訓練・データ品質モニタリング・AI変更管理に運用上の弱点があり、優先順位を付けた改善を提案した
- エ．複数領域を扱ったため結論を出さなかった

答え・解説

正答：ウ

ア：過度な一般化である。

イ：論点間の因果関係がない。

ウ：経営レベルと実務レベルの統制を統合して総合評価している。

エ：監査目的に対する総合判断が必要である。

総合解説：複数論点を扱う場合も、個別評価を並べるだけでなく、残存リスクと改善優先度へ統合する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0120

監査対象別論述テーマ > ガバナンス・BCP・データ / AI | 難易度：応用

【論述演習】ガバナンス・BCP・データ / AI答案の最終レビューとして最も重要なものはどれか。

- ア．経営用語をできるだけ多く使ったか
- イ．AI技術の仕組みを長く説明したか
- ウ．BCPの一般論を教科書的に列挙したか
- エ．経営目標と監査テーマの関係、具体的な監査証拠、残存リスク、改善提案まで一貫しているか

答え・解説

正答：エ

ア：用語数は評価を保証しない。

イ：監査論述から外れやすい。

ウ：自分の対象・証拠・判断が不足する。

エ：上位概念だけの抽象論にならず、監査人の具体的行動と結論が必要である。

総合解説：抽象的になりやすいテーマほど、対象、数値、証拠、判断、改善を具体化することが重要である。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0121

論文評価・総合演習 > 具体性・数値・実務性 | 難易度：基礎

【論文評価】『多数の利用者がいる重要システム』という記述を、より具体的に改善する最も適切なものはどれか。

ア．『国内85拠点・約3,200人が利用し、停止すると受注・出荷処理が停止する基幹システム』と規模と業務影響を示す

イ．『とても大規模な重要システム』と形容詞を増やす

ウ．製品名だけを詳しく書く

エ．『かなり多くの人が使う』と書く

答え・解説

正答：ア

ア：利用規模と事業影響を具体的に示しており、後続のリスク説明へつながる。

イ：具体的な情報が増えていない。

ウ：規模や業務重要性を示せない。

エ：曖昧なままである。

総合解説：数値は単なる装飾ではなく、監査対象の規模、重要性、統制基準、判断根拠を示すために使う。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0122

論文評価・総合演習 > 具体性・数値・実務性 | 難易度：基礎

【論文評価】監査手続の記述として実務性が最も高いものはどれか。

ア．『アクセス管理を詳しく監査した』

イ．『人事退職者一覧と有効ID一覧を突合し、退職後も有効な6IDについて無効化承認と直近利用ログを確認した』

ウ．『必要な情報を調査した』

エ．『アクセス権に問題がないか見た』

答え・解説

正答：イ

ア：何をどう確認したか不明である。

イ：資料名、比較方法、例外件数、追加確認が具体的である。

ウ：対象資料と監査要点が不明である。

エ：手続・証拠・結果が具体化されていない。

総合解説：良い論文は監査人が実際に何を取得し、どの条件で確認し、何を発見したかを再現可能な程度に示す。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0123

論文評価・総合演習 > 具体性・数値・実務性 | 難易度：基礎

【論文評価】答案に数値を盛り込む主な狙いとして最も適切なものはどれか。

- ア．数字を多く見せて専門的に見せる
- イ．文章量を増やすために数値を入れる
- ウ．監査対象の規模、基準、差異、改善効果を具体的に示し、監査判断の説得力を高める
- エ．根拠がなくても細かい数値を断定する

答え・解説

正答：ウ

ア：数値の意味がなければ効果はない。
イ：論述目的と関係しない。
ウ：意味のある数値は事実と判断を結び付ける。
エ：信頼性を損なう。
総合解説：利用者数、取引件数、RTO、例外率、改善期限など、監査論理に關係する数値を選ぶ。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0124

論文評価・総合演習 > 具体性・数値・実務性 | 難易度：標準

【論文評価】『障害対応が遅かった』という記述を最も適切に改善したものはどれか。

- ア．『非常に遅かった』
- イ．『担当者の対応が悪かった』
- ウ．『障害は問題だった』
- エ．『SLAでは重大障害を30分以内に通知すると定めていたが、直近3件はいずれも90分以上を要した』

答え・解説

正答：エ

ア：程度が曖昧である。
イ：事実・基準がなく主観的である。
ウ：何が問題か分からない。
エ：評価基準と実績差異が数値で明確である。
総合解説：論文では『悪い』『遅い』などの主観語を、基準・実績・影響へ置き換えると説得力が高まる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0125

論文評価・総合演習 > 具体性・数値・実務性 | 難易度：標準

【論文評価】実務性の高い改善提案として最も適切なものはどれか。

- ア．重大指摘には30日以内の暫定統制、次期リリースで恒久対策、責任者と完了判定証拠を設定する
- イ．『早急に改善する』
- ウ．『完全なシステムにする』
- エ．『最新製品を導入する』

答え・解説

正答：ア

ア：期限、段階、責任、完了条件が具体的で実行可能性を示している。

イ：期限・方法・責任が曖昧である。

ウ：達成条件が不明で現実性が低い。

エ：問題との対応や実現可能性が不明である。

総合解説：実務的な提案は、何を、誰が、いつまでに、どの状態まで改善するかが分かる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0126

論文評価・総合演習 > 具体性・数値・実務性 | 難易度：標準

【論文評価】監査対象の重要性を示す数値として最も有効なものはどれか。

- ア．サーバラックの色番号
- イ．売上の60%を処理する、1日8万件を処理する、RTOが2時間であるなど事業影響に直結する数値
- ウ．担当者の誕生日
- エ．会社案内のページ数

答え・解説

正答：イ

ア：事業重要性和無関係である。

イ：監査テーマの重要性を説明できる数値である。

ウ：監査対象の重要性を示さない。

エ：業務影響と関係しない。

総合解説：数値は監査対象の重要性や統制基準に意味があるものへ絞る。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0127

論文評価・総合演習 > 具体性・数値・実務性 | 難易度：標準

【論文評価】『サンプルを確認した』という記述を改善する最も適切なものはどれか。

- ア．『多くのサンプルを見た』
- イ．『適当に選んだサンプルを確認した』
- ウ．『対象期間の変更申請1,240件からリスクに応じ40件を抽出し、承認・テスト・本番反映記録を確認した』
- エ．『全部ではないが確認した』

答え・解説

正答：ウ

ア：どれだけ・何を見たか不明である。

イ：抽出根拠が不適切である。

ウ：母集団、サンプル数、抽出目的、確認事項が具体的である。

エ：監査証拠の十分性を評価できない。

総合解説：母集団・抽出数・抽出方法・確認項目を示すことで監査手続の実務性が高まる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0128

論文評価・総合演習 > 具体性・数値・実務性 | 難易度：標準

【論文評価】具体的な数値を答案へ入れる際に、最も注意すべき点はどれか。

- ア．細かい数値ほど根拠がなくてもよい
- イ．数値は多ければ多いほどよい
- ウ．序論と本論で利用者数が違ってても問題ない
- エ．数値の出所・基準・意味が論旨と整合し、前後で矛盾しないようにする

答え・解説

正答：エ

ア：虚偽・矛盾につながる。

イ：不要な数値は論旨を散漫にする。

ウ：前提矛盾となる。

エ：具体性を高める数値も、一貫性がなければ逆に信頼性を下げる。

総合解説：論述前のメモで主要数値を固定しておく、答案内の矛盾を防ぎやすい。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0129

論文評価・総合演習 > 具体性・数値・実務性 | 難易度：応用

【論文評価】『監査人としての実務性』が最も表れている記述はどれか。

- ア．対象部門への質問だけでなく、設定・ログ・承認記録を確認し、例外を追加調査して結論を形成した
- イ．一般的な管理策を教科書のように説明した
- ウ．対象部門の説明をそのまま記載した
- エ．システム機能を長く紹介した

答え・解説

正答：ア

ア：監査人が証拠を収集・評価し、判断した過程が具体的である。

イ：監査人自身の行動が見えない。

ウ：独立した評価が不足する。

エ：監査手続・判断が不足する。

総合解説：論述では、監査対象の説明よりも、監査人が何を確認しどう判断したかを具体的に示すことが重要である。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0130

論文評価・総合演習 > 具体性・数値・実務性 | 難易度：応用

【論文評価】具体性・数値・実務性の三つを同時に満たす記述はどれか。

- ア．『BCPIに問題があったので改善すべきだ』
- イ．『RTO2時間に対し訓練復旧は4時間20分だったため、復旧手順と要員配置を見直し、3か月後の再訓練で2時間以内を確認するよう提案した』
- ウ．『訓練をたくさん実施する』
- エ．『最新のDR製品を導入する』

答え・解説

正答：イ

ア：具体性・数値・実施方法が不足する。

イ：基準と実績の数値、監査判断、実行可能な改善と再確認まで含んでいる。

ウ：基準と改善目的が曖昧である。

エ：必要性・効果・実現可能性が示されていない。

総合解説：高品質な論述は、対象条件・証拠・数値・判断・改善が一つのストーリーとして具体的に結び付いている。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0131

論文評価・総合演習 > 論理的一貫性・根拠・設問適合 | 難易度：基礎

【論文評価】論理的一貫性が最も高い流れはどれか。

- ア．クラウド移行→人事評価の問題→バックアップを監査→AI導入を提案
- イ．アクセスリスク→監査証拠なし→安全と結論
- ウ．クラウド移行で責任分界が変化→利用者側統制漏れリスク→契約・設定・ログを監査→統制不足を指摘→責任分界表とレビュー改善を提案
- エ．BCP監査→開発言語を確認→SLA改善を提案

答え・解説

正答：ウ

ア：論点がつながっていない。

イ：根拠がない。

ウ：背景から改善提案まで因果関係が連続している。

エ：監査目的と手続・提案が不整合である。

総合解説：背景→リスク→統制→手続→証拠→判断→改善が一貫していることが論文品質の中核である。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0132

論文評価・総合演習 > 論理的一貫性・根拠・設問適合 | 難易度：基礎

【論文評価】設問適合性が低い答案の特徴として最も適切なものはどれか。

- ア．監査証拠を具体的に書く
- イ．リスクと手続を対応付ける
- ウ．対象固有の背景を書く
- エ．設問は監査手続を求めているのに、システムの技術説明だけで大半を占める

答え・解説

正答：エ

ア：設問適合性を高める。

イ：監査論述として適切である。

ウ：設問趣旨に合えば有効である。

エ：求められた監査人の行動へ答えていない。

総合解説：IPA採点講評でも、問題文の趣旨や設問要求を踏まえていない論述が指摘されている。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0133

論文評価・総合演習 > 論理の一貫性・根拠・設問適合 | 難易度：基礎

【論文評価】監査判断の根拠が最も明確な記述はどれか。

- ア．『規程では月次レビューを求めるが12か月中4回しか記録がなく、統制は継続運用されていないと判断した』
- イ．『レビューが少ないと感じた』
- ウ．『担当者も問題だと言っていた』
- エ．『レビュー統制は無効である』だけ

答え・解説

正答：ア

ア：評価基準、事実、判断が対応している。

イ：主観的で基準がない。

ウ：監査人自身の根拠が不足する。

エ：事実と評価基準が示されていない。

総合解説：監査判断は、何に照らして、どの事実から、どの結論を得たかを示す。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0134

論文評価・総合演習 > 論理の一貫性・根拠・設問適合 | 難易度：標準

【論文評価】序論では『アクセス権監査』、本論では『バックアップ監査』、結論では『AIガバナンス改善』を提案している。最も大きな問題はどれか。

- ア．複数テーマを知っていること
- イ．監査テーマが段階ごとになり、論文全体の一貫性が失われている
- ウ．結論に改善提案があること
- エ．序論が短いこと

答え・解説

正答：イ

ア：知識量自体は問題ではない。

イ：前提・本論・結論が同じ監査目的へ収束していない。

ウ：改善提案は適切だが本論との対応が必要である。

エ：テーマ不一致が本質である。

総合解説：答案全体で対象、リスク、監査目的を固定し、各段落をその線上に配置する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0135

論文評価・総合演習 > 論理の一貫性・根拠・設問適合 | 難易度：標準

【論文評価】設問イで特定したリスクと設問ウの監査手続が対応しているか確認する最も有効な方法はどれか。

- ア．設問ごとに別々の事例を使う
- イ．手続をできるだけ多く列挙する
- ウ．リスクごとに『確認すべき統制』『実施手続』『取得証拠』を表形式のメモで対応付ける
- エ．リスクを一文だけ書き、後で見直さない

答え・解説

正答：ウ

ア：一貫性を損なう。
イ：対応関係が明確になるとは限らない。
ウ：要求間の対応漏れを事前に検出できる。
エ：設問間のずれを防げない。
総合解説：論述前の論点マップは、リスクと監査手続・証拠の対応を保つのに有効である。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0136

論文評価・総合演習 > 論理の一貫性・根拠・設問適合 | 難易度：標準

【論文評価】根拠のない断定を避ける最も適切な表現はどれか。

- ア．『全期間で絶対に問題はない』
- イ．『担当者がそう言ったので完全に有効である』
- ウ．『何となく問題なさそうだった』
- エ．『確認した30件では承認漏れはなかったため、抽出範囲では統制が運用されていると判断した』

答え・解説

正答：エ

ア：サンプル証拠の範囲を超えている。
イ：客観的根拠が不足する。
ウ：監査判断として不適切である。
エ：証拠の範囲を明示し、過度な一般化を避けている。
総合解説：論文の説得力は強い断定ではなく、証拠に対応した適切な評価によって高まる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0137

論文評価・総合演習 > 論理の一貫性・根拠・設問適合 | 難易度：標準

【論文評価】設問が『あなたがどのような監査手続を実施したか』を求めている場合、最も適切な主語はどれか。

- ア．『私は監査人として〇〇を入手し、 と突合して□□を確認した』
- イ．『一般的には確認される』
- ウ．『対象部門が確認した』
- エ．『システムが自動的に確認した』

答え・解説

正答：ア

ア：自分の監査行動が明確で、設問の主体要求に対応している。

イ：自分が何を行ったか不明である。

ウ：監査人の手続ではない。

エ：監査人の評価行為が示されていない。

総合解説：設問が自らの経験・考えを求める場合、監査人としての具体的な行動と判断を示す。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0138

論文評価・総合演習 > 論理の一貫性・根拠・設問適合 | 難易度：標準

【論文評価】改善提案の根拠を最も明確にする方法はどれか。

- ア．改善策の製品名だけを書く
- イ．指摘の原因・残存リスクと改善策の対応を説明し、なぜその策が有効か示す
- ウ．対象部門が希望した対策をそのまま書く
- エ．流行している対策を選ぶ

答え・解説

正答：イ

ア：指摘との因果関係が不明である。

イ：提案が思いつきではなく、監査結果から論理的に導かれる。

ウ：監査判断としての根拠が不足する。

エ：対象リスクへの適合性が必要である。

総合解説：指摘→原因→リスク→改善策の論理を明示すると、結論の説得力が高まる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0139

論文評価・総合演習 > 論理的一貫性・根拠・設問適合 | 難易度：応用

【論文評価】設問適合性の最終確認として最も適切な方法はどれか。

- ア．専門用語の数を数える
- イ．答案の文字数だけを見る
- ウ．設問の要求語ごとに、答案中の対応箇所を線で結べるか確認する
- エ．書いた順番だけを確認する

答え・解説

正答：ウ

ア：設問適合性を評価できない。

イ：要求への回答内容が重要である。

ウ：要求漏れや無関係な記述を検出しやすい。

エ：要求網羅性は分らない。

総合解説：完成答案は『何を問われ、どこで答えたか』を明確に追跡できる状態が望ましい。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0140

論文評価・総合演習 > 論理的一貫性・根拠・設問適合 | 難易度：応用

【論文評価】論理的一貫性・根拠・設問適合を同時に満たす答案の特徴はどれか。

- ア．設問とは別テーマを詳しく説明する
- イ．結論だけ強く断定し証拠を書かない
- ウ．複数の事例を段落ごとに入れ替える
- エ．設問で求められた対象について、背景から導いたリスクを具体的証拠で監査し、その結果に対応する結論を述べている

答え・解説

正答：エ

ア：設問適合性が低い。

イ：根拠がない。

ウ：一貫性が失われる。

エ：設問要求、監査論理、証拠、結論が一つに統合されている。

総合解説：高品質な論述では、設問適合性・証拠に基づく判断・全体の一貫性が同時に満たされる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0141

論文評価・総合演習 > 時間配分・字数・完成度 | 難易度：基礎

【論文演習】B-2の120分を使う際、最も適切な基本方針はどれか。

- ア．設問分析・構成メモ・本文作成・最終見直しの時間をあらかじめ分け、本文だけに全時間を使わない
- イ．開始直後から構成を考えず書き続ける
- ウ．序論だけに大半の時間を使う
- エ．見直し時間は不要とする

答え・解説

正答：ア

ア：論述式では書き始める前の設計と、最後の要求漏れ確認が重要である。
イ：論点漏れや一貫性崩れが起こりやすい。
ウ：本論・結論が未完成になるリスクが高い。
エ：設問漏れ・矛盾・未完成を修正する機会を失う。
総合解説：実際の配分比率は受験者により異なるが、設問分析・構成・執筆・レビューの各工程を確保することが重要である。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0142

論文評価・総合演習 > 時間配分・字数・完成度 | 難易度：基礎

【論文演習】答案を書き始める前の時間を使って最も優先すべきことはどれか。

- ア．序論の美しい表現だけ考える
- イ．設問要求、選ぶ事例、主要リスク、監査手続・証拠、結論の骨格をメモする
- ウ．専門用語をできるだけ多く思い出す
- エ．本文を一文ずつ即興で作る

答え・解説

正答：イ

ア：論文全体の設計が不足する。
イ：先に骨格を作ることによって途中のテーマ変更や要求漏れを防ぎやすい。
ウ：設問適合性を保証しない。
エ：全体の一貫性が崩れやすい。
総合解説：短い構成メモでも、設問ア・イ・ウの対応と主要証拠を固定しておくことで完成度が上がる。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0143

論文評価・総合演習 > 時間配分・字数・完成度 | 難易度：基礎

【論文演習】指定字数への対応として最も適切な考え方はどれか。

- ア．指定字数を無視して書きたいだけ書く
- イ．字数を埋めるため無関係な一般論を追加する
- ウ．各設問の指定字数を守りつつ、要求事項へ必要な内容を優先して配分する
- エ．短ければ短いほど評価が高いと考える

答え・解説

正答：ウ

ア：試験条件に適合しない。
イ：設問適合性が低下する。
ウ：字数は形式要件であり、内容の過不足と併せて管理する必要がある。
エ：必要な論述量を満たす必要がある。
総合解説：問題冊子で示された字数条件に従い、主要論点へ文章量を配分する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0144

論文評価・総合演習 > 時間配分・字数・完成度 | 難易度：標準

【論文演習】執筆中、予定より序論が長くなっていることに気付いた。最も適切な対応はどれか。

- ア．序論をさらに詳しくして本文時間を使い切る
- イ．途中で全テーマを変更する
- ウ．結論を省略する前提で序論を書き続ける
- エ．本論・結論に必要な残り時間と字数を確認し、背景説明を削って主要監査論点へ移る

答え・解説

正答：エ

ア：本論未完成のリスクが高い。
イ：大幅な時間損失と一貫性崩れにつながる。
ウ：監査目的への最終回答が欠ける。
エ：得点に直結する監査判断を未完成にしないための調整である。
総合解説：論文作成自体もプロジェクトのように残時間と未完成部分を把握し、優先順位を調整する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0145

論文評価・総合演習 > 時間配分・字数・完成度 | 難易度：標準

【論文演習】残り20分で本論はほぼ完成しているが結論が未着手である。最も適切な優先順位はどれか。

- ア．監査目的への結論と主要改善提案を先に完成させ、その後で表現や細部を見直す
- イ．既に関いた序論の言い回しだけを推敲する
- ウ．新しいリスクを追加する
- エ．監査証拠を全て別テーマへ書き換える

答え・解説

正答：ア

ア：未完成答案を避け、論文全体の骨格を完成させることを優先する。

イ：結論未完成の方が重大である。

ウ：時間不足の中で論理が崩れる可能性が高い。

エ：完成度を下げる。

総合解説：最終盤では新規論点より、要求された全設問・結論を完成させることを優先する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0146

論文評価・総合演習 > 時間配分・字数・完成度 | 難易度：標準

【論文演習】最終見直しで最も優先して確認すべきものはどれか。

- ア．漢字をより難しい表現に置き換えること
- イ．設問要求の回答漏れ、対象・数値の矛盾、結論未記載など得点へ大きく影響する欠陥
- ウ．専門用語を追加すること
- エ．全ての文を長文化すること

答え・解説

正答：イ

ア：得点への寄与は限定的である。

イ：表現の細かな美しさより、要求充足と論理一貫性を優先する。

ウ：要求漏れの修正を優先すべきである。

エ：明瞭性を損なう場合がある。

総合解説：最終数分では、設問ア・イ・ウの完了、論理の断絶、数値・役割の矛盾を重点確認する。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0147

論文評価・総合演習 > 時間配分・字数・完成度 | 難易度：標準

【論文演習】構成メモに時間を使いすぎて本文開始が大幅に遅れた。次回の改善として最も適切なものはどれか。

- ア．構成メモを完全に廃止する
- イ．本文時間を減らしてさらに詳しいメモを作る
- ウ．構成メモの項目を設問要求・リスク・証拠・結論に絞り、一定時間で本文へ移るルールを決める
- エ．毎回異なる方法で時間を測らず書く

答え・解説

正答：ウ

ア：一貫性崩れのリスクが高まる。
イ：未完成リスクが増える。
ウ：設計の質を保ちながら執筆時間を確保する改善である。
エ：改善効果を検証できない。
総合解説：練習では工程別の所要時間を記録し、自分に適した上限時間を調整すると安定しやすい。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0148

論文評価・総合演習 > 時間配分・字数・完成度 | 難易度：標準

【論文演習】字数不足を補うために追加する内容として最も有効なものはどれか。

- ア．会社沿革を長く追加する
- イ．同じ結論を言い換えて繰り返す
- ウ．一般的な用語定義を大量に追加する
- エ．監査手続で用いた具体的証拠、例外への追加確認、判断根拠を詳しくする

答え・解説

正答：エ

ア：監査テーマと無関係なら評価につながりにくい。
イ：内容の重複になる。
ウ：自らの監査経験・判断が薄まる。
エ：設問適合性と実務性を高めながら必要な内容量を確保できる。
総合解説：不足時は一般論ではなく、監査証拠・判断・改善の具体性を増やす。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0149

論文評価・総合演習 > 時間配分・字数・完成度 | 難易度：応用

【論文演習】字数超過になりそうな場合、最初に削るべき内容はどれか。

- ア．設問回答に直接関係しない背景説明、重複表現、一般論
- イ．監査証拠の具体的記述
- ウ．設問で直接求められたリスク
- エ．監査結論

答え・解説

正答：ア

ア：主要な監査手続・証拠・判断を残しながら圧縮できる。
イ：論文の説得力を下げる。
ウ：要求未達になる。
エ：論文が未完成になる。
総合解説：削る順序は『無関係・重複・一般論』を先にし、設問への直接回答を保つ。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02

0150

論文評価・総合演習 > 時間配分・字数・完成度 | 難易度：応用

【論文演習】本番前の総合演習として最も効果的な方法はどれか。

- ア．時間無制限で序論だけ練習する
- イ．実際と同じ120分で設問選択から構成・執筆・見直しまで通して行い、要求漏れ・時間・字数・一貫性を振り返る
- ウ．模範答案を読むだけで自分では書かない
- エ．専門用語暗記だけを繰り返す

答え・解説

正答：イ

ア：本番の時間制約と全体完成力を訓練できない。
イ：知識確認だけでなく、論述プロセス全体を本番条件で訓練できる。
ウ：設問分析・時間配分・文章化の能力を検証できない。
エ：総合論述力を鍛えられない。
総合解説：最終段階では、120分で一つの論文を完成させ、分析・構成・具体性・字数・見直しを定量的に振り返る。

対象：2026年度 / 基準日 2026-09-02